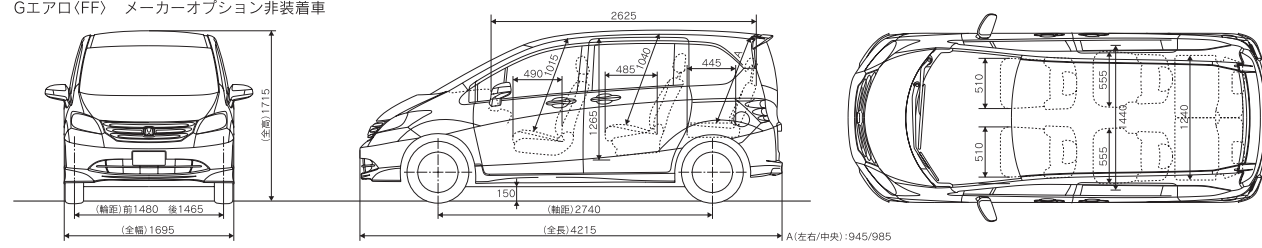
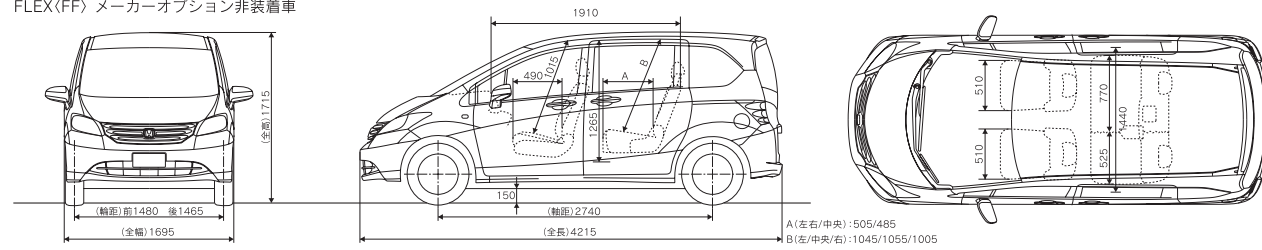


■三面図 単位:mm

Gエアロ(FF) メーカーオプション非装着車



FLEX(FF) メーカーオプション非装着車



**HONDA**  
The Power of Dreams

PRESS INFORMATION  
2008.5.29

**FREED**

**HONDA**  
The Power of Dreams

本田技研工業株式会社 広報部  
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

四輪・汎用商品広報 TEL(03)5412-1514/FAX(03)5412-1515

企業広報 TEL(03)5412-1512/FAX(03)5412-1545

URL <http://www.honda.co.jp/>



Hondaは、革新的なスモールカーを創造し続けるとともに、ミニバンという新しい流れを創出し、つねに独自の価値を提案し続けています。そして2001年にはこの2つを融合させ、コンパクトなボディサイズで3列空間を持つモビリオを開発。“コンパクトミニバン”というカテゴリーを確立しました。

今回、新たな多人数・多目的乗用車の開発においては、空間効率と走行性能を同時に高めるHonda独自の「低床・低重心」技術をベースに採用し、コンパクトクラスでありながら従来の基準を塗り替えるゆとりと使いやすさに満ちたクルマづくりにチャレンジしました。

毎日の暮らしのなかでクルマをもっと自由に楽しんでもらいたいという思いを込めて、いま走りはじめます。

# Honda FREED

【フリード】

## 開発にあたって

街のなかを軽快に走るには、コンパクトなボディサイズが重宝します。一方、家族を中心に日々の暮らしでクルマを使うには、広い空間が役立ちます。

今回私たちが目指したのは、こうした双方の要件を突き詰め、都市をはじめ日常のさまざまな用途でクルマを使用する方々にとって、もっと自在に使いこなせ、もっと自由に暮らしが広がるクルマを創ることでした。

“コンパクトゆえに当然”と考えられていた従来の“モノサシ”を一掃する「ゆとりの使いやすさ」を実現し、ミニバンというワクにもとらわれない誰にでもマッチするクルマを具現化しようと考えたのです。

運転しやすく取り回しのよいボディサイズでありながら、大人が3列ともしっかりと座れる余裕の広さ、居心地のよいインテリア、フラットフロアでウォークスルーができる使い勝手などを備え、ダイナミックなエクステリアでエモーショナルに仕上げる。いわば、コンパクト価値、空間価値、感動価値の融合を極めたと自負しています。

さまざまなライフシーンで思いのままに応える、【フリード】。より多くの方々に、暮らしにベストな一台と実感していただけたらと思います。

開発責任者 安田 浩志



安田 浩志 (やすだ ひろし)  
(株)本田技術研究所 主任研究員

1982年(株)本田技術研究所入社。ボディ設計PLを経て、98HR-V、02モビリオの設計LPL代行、02モビリオ スパイクのLPLを担当。今回、フリードのLPLを務める。趣味は読書。愛車はアコード。

## CONTENTS

開発にあたって	2	パッケージ	9	エクステリアデザイン	17	安全性能	25
コンセプト	3	空間設計	11	ボディサイズ&運転のしやすさ	19	環境性能/福祉車両	27
アピールポイント	5	インテリアデザイン	15	走行性能	21	装備・諸元・環境仕様	29
テクノロジーポイント	7			運動性能	23		

# 毎日の暮らしを自由に広げるクルマ【フリード】。

【フリード】を開発するうえで最もこだわったのは、コンパクトであっても決してストレスを与えることなく、思いどおりに使えること。そこで、ボディに対する空間の広さ、シートレイアウトや荷室の使い勝手、走りの質などを一から見つめ直し、これまでにない快適さを生むサイズ感やスケール感を徹底的に追求。「フリーライフ・クリエイション」をコンセプトに、毎日の使用に最適なゆとりを備えることで暮らしを自由に広げるクルマを創造したいと考えました。

空間のゆとりと走りの安定感を両立させる独自の「低床・低重心」技術を核に、Hondaのミニバンづくりとスモールカーづくりの技術を凝縮。まずは、ボディ全長を抑えながら3列ともゆったり過ごせる「人にフリーなサイズ」を追求。そのうえで、それぞれの使い方での利便性を発揮する「暮らしにフリーなスペース」を突き詰め、都市をスマートに駆ける躍動感のあるデザインと、運転のしやすさやゆとりの走行性能など「街にフリーなスタイルと走り」の具現化に取り組みました。

## 〈外は小さく中はゆったり〉

- コンパクトなボディに大人が3列快適に座れる居住空間。
- 隅々まですっきり広々としたフラットフロア。
- ワンステップフロアやウォークスルーで乗り降りや移動もスムーズ。

## 〈ライフスタイルで選べるベスト空間〉

- ライフスタイルに応える7人乗り・8人乗り・5人乗りのシート設定。
- 広くて明るい開放感に満ちたインテリア。
- ショッピングからレジャーまで対応するゆとりの荷室。
- 移動の自由と楽しさを共有できる福祉車両を3タイプ用意。

## 〈毎日にスマートなデザイン&走行性能〉

- 街に映えるダイナミックなスタイリッシュフォルム。
- 安心して運転できるボディサイズと取り回しや視界のよさ。
- 気兼ねなく使える低燃費の経済性と乗り心地のよい安定した走り。

□自己保護性能のみならず、相手車両や歩行者にも配慮した先進の安全性能。

□優れたクリーン化技術による高水準の環境性能。

これらを身につけた結果、どなたにも快適で使いやすく、日常から休日のさまざまなシーンで、ライフスタイルに合わせて自在に使いこなせるクルマ、【フリード】を完成しました。

人に  
フリーな  
サイズ

外は小さく  
中はゆったり

コンパクトなボディに大人が3列快適に座れる居住空間  
隅々まですっきり広々としたフラットフロア  
ワンステップフロアやウォークスルーで乗り降りや移動もスムーズ

暮らしに  
フリーな  
スペース

ライフスタイルで  
選べるベスト空間

ライフスタイルに応える7人乗り・8人乗り・5人乗りを設定  
広くて明るい開放感に満ちたインテリア  
ショッピングからレジャーまで対応するゆとりの荷室  
移動の自由と楽しさを共有できる福祉車両を3タイプ用意

Free Life  
Creation

**FREED**

7人・8人・5人乗り

街に  
フリーな  
スタイルと走り

毎日にスマートな  
デザイン&走行性能

街に映えるダイナミックなスタイリッシュフォルム  
安心して運転できるボディサイズと取り回しや視界のよさ  
気兼ねなく使える低燃費の経済性と乗り心地のよい安定した走り



## ネーミングの由来：

FREED：Freedom（自由）からの造語。従来の常識や定石にとらわれることなく、どこまでも自由な発想で追い求めたクルマ、また、Free（自由な）+do（行動する）という意味合いを込めたネーミングです。

# フリード〈アピールポイント〉

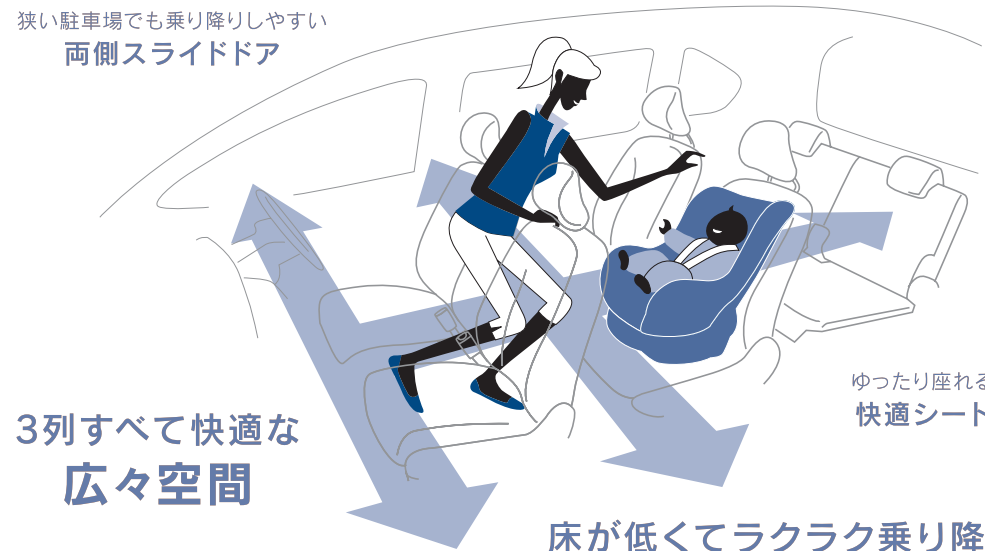
毎日の暮らしが、もっと自由にもっと楽しく広がります。

7 Seater  
8 Seater  
5 Seater

## 外は小さく中はゆったり

車内を自由に移動できる  
フリーウォークスルー&フラットフロア

狭い駐車場で乗り降りしやすい  
両側スライドドア



3列すべて快適な  
広々空間

ゆったり座れる  
快適シート

床が低くてラクラク乗り降り  
ワンステップフロア



## ライフスタイルで選べるベストな空間

ライフスタイルで選べる3タイプの空間  
7人乗り・8人乗り・5人乗り

いっしょに快適ドライブが楽しめる  
福祉車両も  
3つのタイプを設定



3列目が荷室に早変わりする  
はね上げシート  
(7人乗り/8人乗り)

自転車も  
立てて積める  
ビッグな荷室

# FREED

ここにもそこにも  
充実の収納スペース

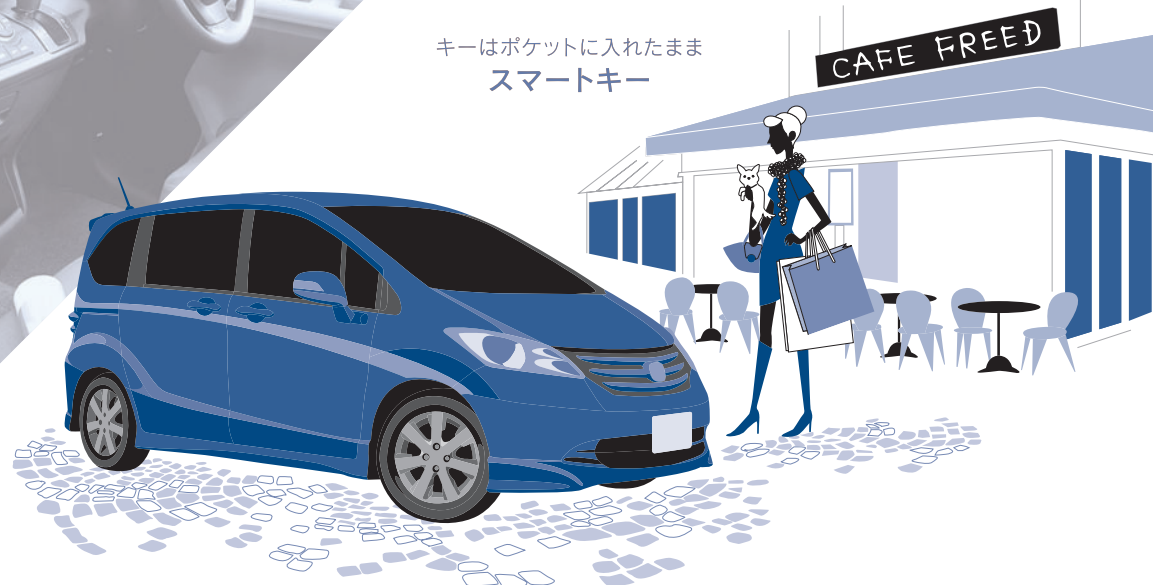
## 毎日にスマートな デザイン & 走行性能

経済的な低燃費  
リッター16.4\*キロ

\*10・15モード走行燃料消費率(FF車)

街にどんどん出たくなる  
スタイリッシュなデザイン

キーはポケットに入れたまま  
スマートキー



スイスイ走れてスツと止められる  
コンパクトボディ

すっきりワイドな  
パノラマ運転視界

ステアリング操作が軽くクルッと機敏な  
最小回転半径5.2m

直進しっかりカーブしなやか  
快適な乗り心地

大勢に乗ってもゆとりある  
力強い走り



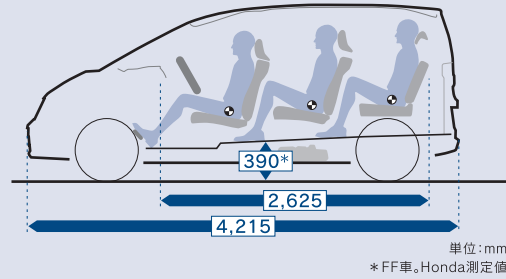
# フリード<テクノロジーポイント>

毎日の暮らしに最適な“ゆとり”を追求しました。

乗る人みんなにゆったり快適な、人にフリーなサイズの追求。

## 広々快適【パッケージ】 P9

- コンパクトボディに**大人が3列快適**に座れるゆとりの居住空間。  
全長4,215mm、室内長2,625mm
- どの座席へも移動できる**フリーウォークスルー**。(7人乗り)
- 小さな子供でも無理なく乗り降りできる**ワンステップフロア**。  
2列目床面地上高390mm (FF車、Honda測定値)
- 狭い駐車場でも乗り降りしやすい**リア両側スライドドア**。**パワースライドドア**も設定。

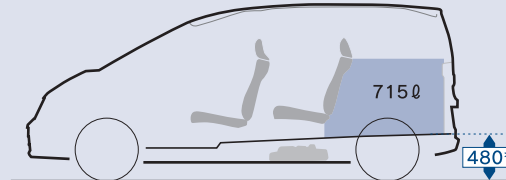
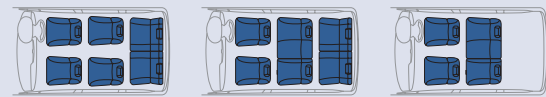


単位:mm  
\*FF車、Honda測定値

それぞれの暮らしに、ぴったり使いやすい、暮らしにフリーなスペースの追求。

## 多彩空間 & ユーティリティ【空間設計】 P11

- ゆったり座れて車内移動も自由にできる**<7人乗り>**。
- みんなそろって出かけられる、1.5ℓクラス唯一の**<8人乗り>**。
- たくさん積めて使い勝手にも優れた**<5人乗り“FLEX”>**。
- 自転車もラクに積める**低床 & 大容量ラゲッジスペース**。  
テールゲート開口地上高480mm (FF車、Honda測定値)、  
荷室容量715ℓ (5人乗り、5人乗車時、VDA方式によるHonda測定値)



単位:mm  
数値はHonda測定値。荷室容量はVDA方式による \*FF車

## くつろぎインテリア【インテリアデザイン】 P15

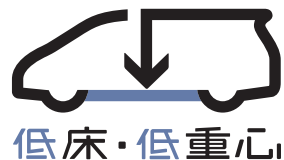
- 広い空間をより広く感じさせ、**明るく開放感のあるインテリア**。
- 素早く確認できる、**視認性に優れたアウトホイールメーター**。
- ミドルクラス同等のゆったりサイズで、**座り心地のよいシート**。



Photo: Gエアロ・Lパッケージ(7人乗り)  
ディーラーオプション装着車 カットボディによる撮影

## Hondaのパッケージング・テクノロジー「低床・低重心」。

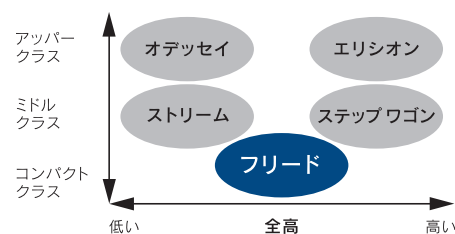
床を低くして空間にゆとりを、重心を低くして安定した走りを、さらには、腰の低いスタイリッシュなデザインをも実現する、独自のパッケージング・テクノロジー「低床・低重心」。Hondaは、この技術をミニバンづくりの中核に採用し、好みやライフスタイルに応える多彩なモデルを展開しています。



広々空間 安定走行

このたびフリードが加わることで、「低床・低重心」ミニバンのラインアップがさらに充実。Hondaはこれからもミニバンの楽しさ、クルマの喜びを、より多くの方に提供していきます。

### ■Honda「低床・低重心」ミニバン・フルラインアップ



スマートに乗りこなせる、街にフリーなスタイルと走りの追求。

## アーバンスタイル【エクステリアデザイン】 P17

- 広い空間をもちながらもダイナミックに描いた新発想の**スタイリッシュフォルム**。



Photo: Gエアロ(7人乗り)(FF)

## 安心ドライブ【ボディサイズ & 運転のしやすさ】 P19

- 駐車場や路地でも**扱いやすいボディサイズ**と優れた**取り回し性**。
- 交差点や狭い道でも安心感のある、**パノラマ視界**。



Photo: Gエアロ・Lパッケージ(7人乗り)  
メーカーオプション装着車  
メーター類は撮影のため点灯  
画面はハメコミ合成

## 低燃費 & 力強さ【走行性能】 P21

- キビキビ走れる**力強さと毎日使える**低燃費**を両立した、1.5ℓ i-VTECエンジン。  
最高出力(ネット値) 87kW[118PS]  
10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値) 16.4km/ℓ (FF車)
- 坂道発進もスムーズ**な、トルクコンバーター付CVT。(FF車、4WD車は5速AT)

## 安定走行【運動性能】 P23

- 安定性と乗り心地**に優れた、軽量・高剛性ボディ & サスペンション。
- 3列すべてで快適に会話を楽しめる、**優れた静粛性**。
- 車庫入れなどでは軽く、高速走行ではしっかり**としたEPS(電動パワーステアリング)。

## 福祉車両 P27

- 車いすのまま乗車でき、快適・安心機能も充実した**<車いす仕様車>**。(2列シートタイプ/3列シートタイプ)
- フル電動でラクに乗降でき、大きな開放感が得られる**<助手席リフトアップシート車>**。
- スライドドアからスムーズに乗降でき、快適な座り心地が得られる**<サイドリフトアップシート車>**。

## 安全性能 P25



- 相手車両との衝突時の衝撃を高効率に吸収する、**コンパティビリティ対応ボディ**。
- 頭部や脚部などに対する**衝撃吸収構造**を採用した、**歩行者傷害軽減ボディ**。
- 側面衝突時の頭部への衝撃を緩和する、**サイドカーテンエアバッグシステム**。
- 運転にゆとりと安心をもたらす、**VSA(車両挙動安定化システム)**。

## 環境性能 P27

- 全タイプ、国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定を取得。
- 「平成22年度燃費基準+25%」を達成。(FF車)
- リサイクル可能率90%\*以上を実現。  
\* [新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)]に基づき算出。
- 日本自動車工業会の定める**環境負荷4物質自主削減目標**を達成。

■各装備・仕様の詳しい設定については、P29~30の主要装備・主要諸元でご確認ください。

## 乗る人みんなに、ゆったり快適。

フリードが最も大切にしていることは、乗る人みんなにストレスを与えることなくだれもが快適に使えること。そのためには、運転しやすいコンパクトなボディでありながら、3列目でも大人が快適に座れる居住性に加え、乗り降りや車内の移動がスムーズに行えることが必要だと考えました。HondaのM/M(マン・マキシマム/メカ・ミニマム)思想をベースに「低床・低重心」技術を活かし、エンジンルームのコンパクト化や低床化を追求。ミドルクラスミニバン同等の居住空間を確保するとともに、低くてフラットなフロアによって優れた乗降性や移動性を実現しています。

### コンパクトなボディでありながら、3列すべてで大人が快適に座れる居住空間。

パワートレインやサスペンションなどのコンパクト化を追求し、各部の配置にも工夫を凝らしました。その結果、街なかでも扱いやすい4,215mmの全長でありながら、ストリームを超える2,625mm\*1の室内長と車内移動もしやすい1,265mm\*2の室内高を実現。室内幅も

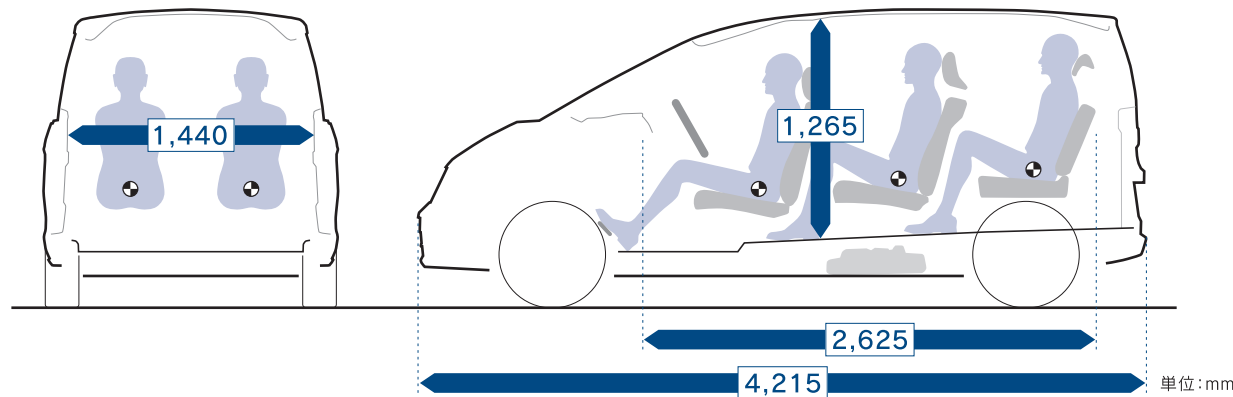
1,440mmを確保しています。さらに、シートの形状や配置の工夫により後列のひざまわりスペースを広げるなど、3列目でもゆったりできる空間を実現しています。

\*1 7人乗り/8人乗り、5人乗りは1,910mm \*2 5人乗りのスカイルーフ装着車は1,235mm

### 居住空間もラゲッジスペースも、低くフラットなフロア。

薄型燃料タンクの2列目シート下への配置や床下構造の工夫により、ラゲッジスペースまでのフラット化を実現したフリード専用のフロア

設計。足元スペースのゆとり、乗り降りや車内移動のしやすさ、さらにはラゲッジスペースの使いやすさにも貢献しています。



### 全列で開放的な視界が得られるヒップポイント設定。

低いフロアがもたらすゆとりある室内高を活かし、後列にいくにしたがってヒップポイントを高く設定。2列目は1列目より60mm、3列目は2列目より45mm高くしています。1列目、2列目のシートバックとヘッドレストを圧迫感の少ない形状としたことと合わせ、2列目、3列目においても開放感のある、見晴らしのよい視界が得られます。数値はHonda測定値



### 車内の移動がスムーズにできる、ウォークスルー。(8人乗り/5人乗り)

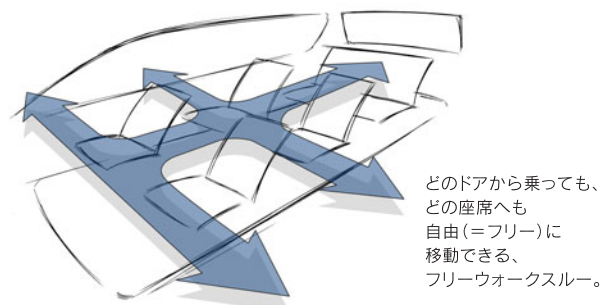
広めに設定した1列目の左右シート間隔により、1列目と2列目間のスムーズな移動が可能。また、左右にフラットなフロアや凹凸の少ないインストルメント

パネルのデザインなどにより、サイドウォークスルーも無理なく行えます。

### シート操作をすることなく、どのドアからでもすべての座席に移動できる、フリーウォークスルー。(7人乗り)

7人乗りでは、2列目にキャプテンシートを採用。1列目から3列目まで自由に行き来ができるため、狭い駐車場などで2列目シートの操作をすることなく、スライドドアから全員が乗り降りすることも可能です。2列目の左右シート間隔は200mm\*確保しているため、2列目シートの左右それぞれにチャイルドシートを設置している場合でもスムーズな車内移動が行えます。

\*シートクッション間。Honda測定値



### 小さな子供やお年寄りでも無理なく乗り降りできる、ワンステップフロア。

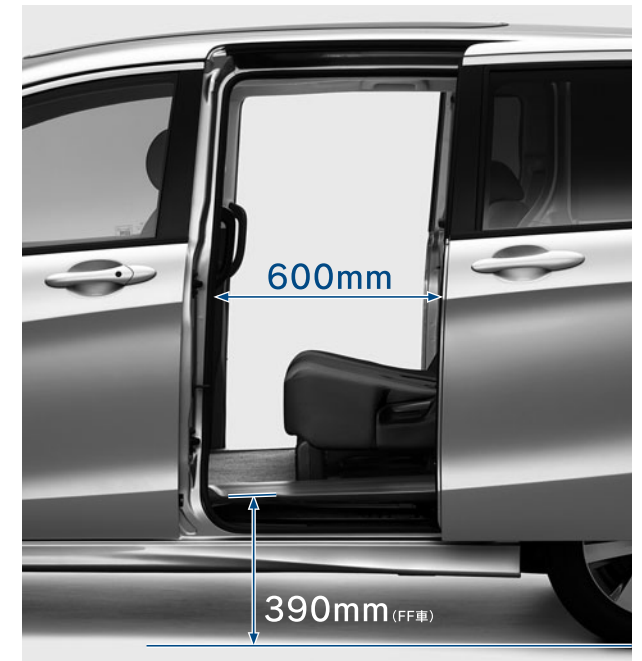
低床設計により、2列目の床面地上高は390mm<sup>(FF車)</sup>の低さを実現しました。手の届きやすい位置に設置した大型アシストグリップと合わせ、小さな子供やお年寄りでも無理なく乗り降りできます。しかも、ステップに段差を設けないことで、ワンステップでの乗降を可能とするとともに、2列目左右席の床面をドアサイドまでフラットにでき、足元スペースを広く確保しています。また、1列目はシートポジションを低めに設定。小柄なドライバーでもスムーズに乗り降りできます。数値はHonda測定値



アシストグリップ

### 大きく開き、狭い場所でも乗り降りしやすい、リア両側スライドドア。

600mmの開口幅を確保した両側スライドドアを採用。壁際や狭い駐車場などでの乗り降りに重宝します。数値はHonda測定値



数値はHonda測定値

### 荷物を抱えていてもラクに開閉できる、パワースライドドア。(タッチセンサー/狭み込み防止機構付)

タイプ別設定

ドアに触れずにキーレスエントリーシステムのリモコンや運転席のスイッチでスライドドアを開閉できる、パワースライドドア。荷物を抱えているときなどに重宝します。また、半ドアの位置から自動的に全閉する、スライドドア・イージークローザー(リア両側)もセットで装備されます。



リモコン



運転席スイッチ

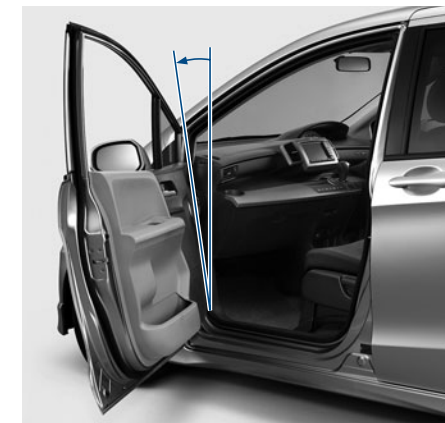
リモコン、スイッチの機能・形状は装備内容により異なります。

### 小さなドア開度でも乗り降りしやすい、前傾ヒンジフロントドア。

フロントドアのヒンジを前傾させて設置したことにより、小さなドア開度でも乗降時の頭部まわりにゆとりを確保。狭い駐車場や傘をさしての乗り降りでも、スムーズに行えます。



パワースライドドア作動イメージ



### キーを出さずに施錠/解錠できる、Hondaスマートキーシステム。タイプ別設定

Hondaスマートキーを携帯することで、キーを出さずにドアやテールゲートを施錠/解錠でき、さらに、キーを挿さずにエンジン始動も行える、Hondaスマートキーシステム。小さな子供を抱いていた、荷物が多いときでも、スムーズに乗り降りできます。



Hondaスマートキー

ロックボタン

エンジン始動ノブ

■Hondaスマートキーシステムは、施錠・解錠のときなどに電波を発信します。その際、植込み型心臓ペースメーカー等の医療用電子機器に影響を与える可能性があります。

■各装備・仕様の詳しい設定については、P29~30の主要装備・主要諸元でご確認ください。

## それぞれの暮らしに、ぴったり使いやすい。

本当に使いやすい空間とは…。フリードが導き出した答えは、家族をはじめ使う人それぞれの使用目的に応える異なった空間を用意し、最適な一台を選択していただくことでした。そのために、7人乗り、8人乗り、5人乗りの3タイプのシートレイアウトを設定し、7人乗り、8人乗りの3列目シートにはシンプル操作の格納機構を備え、荷室の利便性を高めました。これにより、使う人のライフスタイルにベストマッチし、日常はもちろんさまざまなシーンで自在に使いこなせるクルマを実現しました。

### 7 Seater

#### ゆったり座れて車内移動も自由にできる、7人乗り。

2列目に、1列目と同等の座り心地が得られるキャプテンシートを採用。ゆったりと座ることができるとともに、2列目シートの操作をすることなくどの座席へも移動できる、フリーウォークスルーを実現しています。

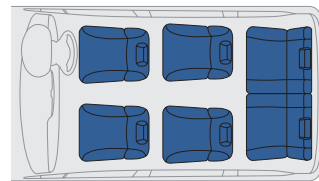


Photo: Gエアロ・Lパッケージ(7人乗り)(FF) デイラーオプション装着車 カットボディによる撮影



Photo: Gエアロ・Lパッケージ(7人乗り)(FF) メーカーオプション装着車 カットボディによる合成写真

#### みんなそろって楽しく出かけられる、8人乗り。

1.5Qクラスで唯一の8人乗りを実現しました。3人が無理なく座れ、6:4分割でアレンジできるベンチシートを2列目に採用。ワンアクションでシートバックが前に倒れ、シートクッションとともに前方へはね上がるため、3列目の乗り降りが容易に行えます。

### 8 Seater

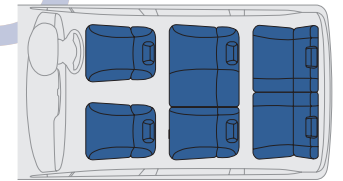


Photo: Gエアロ・Lパッケージ(8人乗り)(FF) デイラーオプション装着車 カットボディによる撮影

### 7/8 Seater

#### 簡単操作で荷室が広がる、3列目5:5分割はね上げシート。

5:5分割で左右へはね上げるタイプのシートを3列目に採用。操作はリクライニングレバーでシートバックを前に倒し、左右へはね上げるだけ。軽量設計により、軽い力で操作できます。



#### 自転車も簡単に積める、可変ラゲッジスペース。

3列目シートの片側をはね上げるだけで、ベビーカー\*1をたたまずに積載可能。7人乗りでは、2列目の左右シート間の空間を活かして、27インチの自転車\*2をハンドルやタイヤを外すことなく立てたまま積み込めます。

\*1 ベビーカーの形状・サイズによっては、積載できない場合があります。  
\*2 自転車の形状によっては、インチサイズが同じでも積載できない場合があります。

#### ■荷室容量

	7人乗り	8人乗り
3列使用時	142ℓ	
2列使用時	672ℓ	615ℓ
1列使用時	900ℓ	1,157ℓ

VDA方式によるHonda測定値



# 5 Seater "FLEX"

## たくさん積めて使い勝手にも優れた、5人乗り(フレックス)。

趣味やレジャーなどにも活用できる、2列シートの5人乗りを設定。低床設計を活かした余裕の荷室高により、たくさんの荷物を積み込めるだけでなく、低い荷室床面や高さのあるテールゲート開口部によって、積み降ろしや荷室内での作業も容易に行えます。水や汚れに強いワイパブルマットも設定しています。

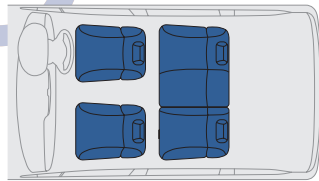
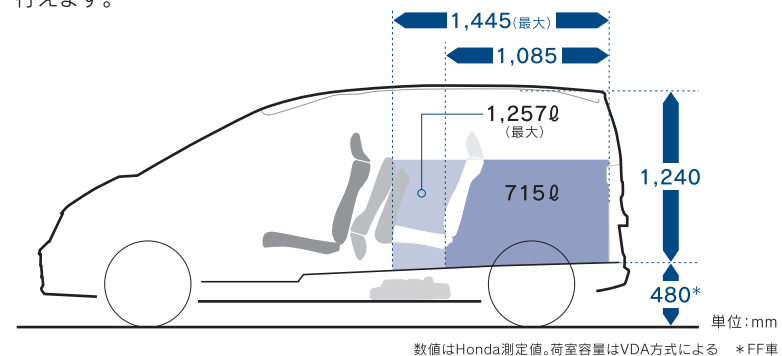


Photo: FLEXエアロ (FF) ティーラーオプション装着車 カットボディによる撮影

## 荷物を持ったまま乗り込める、広々ウォークインラゲッジ。

5名乗車時で荷室長1,085mm、荷室高1,240mm、荷室容量715ℓを確保した大容量のラゲッジスペース。2列目シートを前方にたたむと荷室長は1,445mmに、荷室容量は1,257ℓにまで拡大します。高さのあるテールゲート開口や荷室床面を低く抑えた掃き出しフロアと合わせ、荷物を持ったまま乗り込めるウォークインラゲッジを実現しました。しかも、フロアはフラットなため、荷室内での作業もラクに行えます。

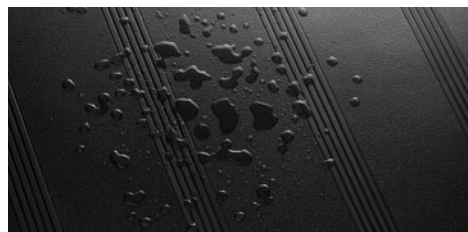


## 水や汚れに強い、ワイパブルマット。 [タイプ別設定]

荷室床面が、泥などで汚れても簡単に拭き取れ、ペットの毛などもつきにくい、樹脂製のワイパブルマットを採用。荷物がすべりにくい表面加工を施しています。また、荷物の固定に便利なタイダウンフックも4カ所に装備されます。



タイダウンフック(4カ所)

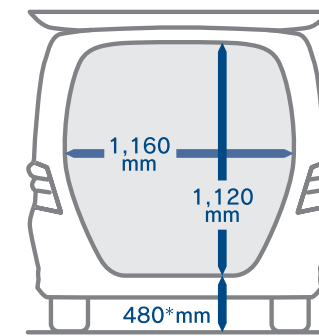


ワイパブルマット

# 7/8/5 Seater

## 大きな荷物の積み降ろしもしやすい、低床・大開口テールゲート。

テールゲート開口部は、高さ1,120mm、最大幅1,160mm。開口地上高は480mm(FF車)を実現。重い物や、自転車などの大きな物の積載性にも優れています。数値はHonda測定値



## 低床ラゲッジスペースに貢献する、応急パンク修理キット。

簡単な操作で4mm程度の穴まで応急修理ができる(タイヤサイドのクラックは除く)応急パンク修理キットを採用し、運転席シート下に収納。スベアタイヤを不要とし、ラゲッジスペースの低床化や、軽量化などに貢献しています。

## 使いやすさを追求した、収納装備。

大型のフロントドアポケットや、さまざまなサイズの容器が安定して置けるドリンクホルダーなど、3列それぞれの適所に便利な収納を設置。使いやすさを追求し、手の届きやすい位置にレイアウトしています。



Photo: Gエアロ・Lパッケージ(7人乗り) (FF) メーカーオプション装着車 カットボディによる合成写真



センターロアボックス



チケットホルダー(運転席側サンバイザー)



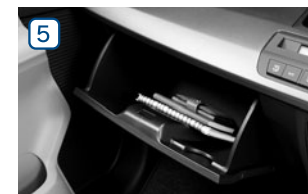
セントार्टレイ(照明付)



ドリンクホルダー(運転席/助手席)



センタードリンクホルダー



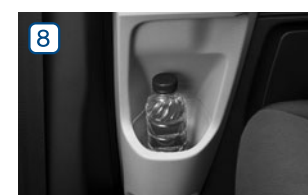
グローブボックス(カードホルダー付)



センターロアボックス



大型ドアポケット(フロント左右)



スライドドア・ドリンクホルダー(2列目左右)



リアサイド・ドリンクホルダー(3列目左右)



シートバックポケット(助手席) [タイプ別設定]



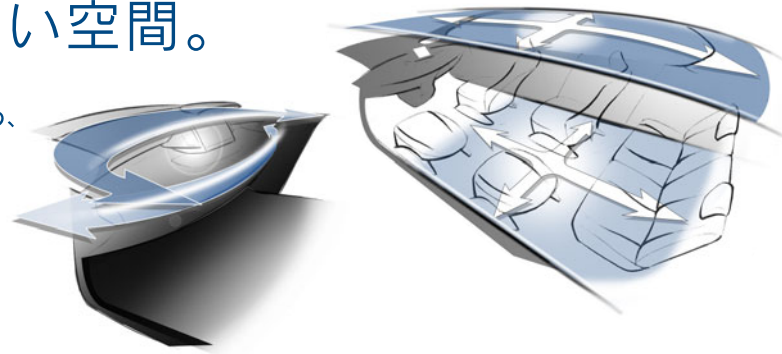
コンビニフック(助手席背面) [タイプ別設定]

■小物類は撮影のために用意したものです。 ■各装備・仕様の詳しい設定については、P29~30の主要装備・主要諸元でご確認ください。



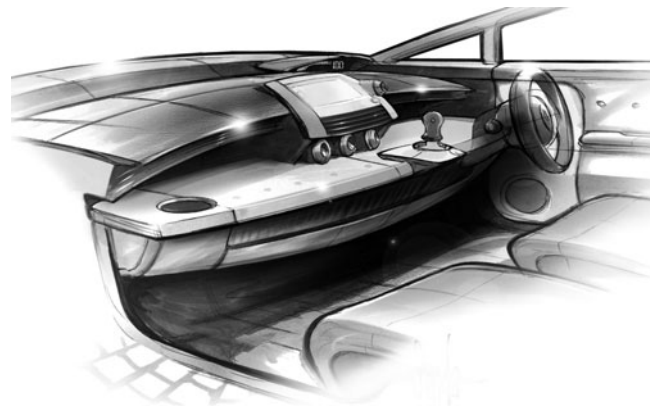
## 広く、使いやすく、心地よい空間。

インテリアではオープンカフェのような居心地のよさを求め、「広さ」「使いやすさ」「心地よさ」をテーマに取り組みました。室内全体を伸びやかな造形で包み込みながら各所に広さを感じる工夫を施し、操作系も使いやすい配置を追求。開放感にあふれ、心地よく使いやすい空間をつくり出しています。



### 広々とした開放感をもたらす、インストルメントパネル。

インストルメントパネルは異なる造形のアッパー部とロア部を重ね合わせたレイヤードデザインとしました。アッパー部は遠方に配置することで奥行き感を出し、大きなガラスエリアと合わせ、広々とした開放感を獲得。さらに、ドアライニングの前部と後部でカラーを変え、前部をブラックとすることでラップラウンドデザインのインパネアッパー部との連続感を高め、ワイドな広がりや包まれるような安心感を生み出しました。ロア部はフラットに張り出した面がアッパー部とは逆のラウンドを描きながら左右へ広がり、ワイド感をより強調しています。

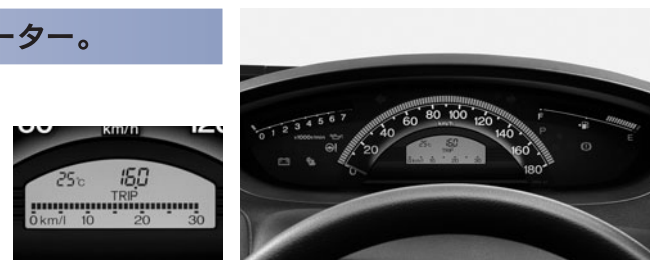


### 明るさで広さ感を演出する、フラットなルーフライニング。

ルーフライニングは、凹凸の少ないフラットな形状とするとともに明るめのカラーを採用。外からの光を効果的に取り込み、室内を明るくすることで、より広さを感じる空間を演出しています。

### 素早く確認できる、視認性に優れたアウトホイールメーター。

走行視界からの視線移動角度を少なく、かつ走行視界に近づけて焦点差を少なくするために、ステアリングホイールの外側に見えるインストルメントパネルの上方・フロントウインドウ寄りにメーターを配置。スピードメーターは半円状のアナログ表示とし、その左右に液晶表示のタコメーターとフューエルメーターを配置。メーターパネルの高さを抑えることができ、優れた前方視界にも貢献しています。



インフォメーションディスプレイ

#### 【インフォメーションディスプレイ】

瞬間燃費を常時表示し、切り換えによってオド(積算距離)、トリップ(区間距離)、平均燃費、推定航続可能距離を表示できます。

### 使いやすさを追求した、運転席まわりのゾーニング配置。

使いやすさを追求し、運転席まわりの操作系を機能ごとに分類して配置しました。オーディオ/ナビゲーションは見やすいインパネアッパー部の中央に、エアコンの操作パネルは1列目両席のどちらからでも操作しやすいインパネロア部中央の乗員に近い面に配置しました。また、

インパネシフトはインパネロア部にすっきりと配置。操作性に優れるとともに、凹凸感が少ないエアコン操作ボタンと合わせ、サイドウォークスルーのしやすさにも貢献しています。



Photo: Gエアロ・Lパッケージ(7人乗り)(FF) メーカーオプション装着車



### ゆったりサイズで座り心地のよいシート。

シートは全列で、ミドルクラス\*車に採用されているシートフレームをベースに設計。ゆったりとしたサイズを確保し、ホールド性と座り心地に優れたシートに仕上がっています。1列目と2列目のシートバックは、背面形状を工夫して、後列乗員のひざまわりにゆとりをもたらすと同時に、ショルダー部やヘッドレストを後列乗員に圧迫感を与えない形状とすることで、後列からの見晴らしにも配慮しています。\*当社2.0~2.4クラス



1列目シート  
タイプにより、運転席アームレストを装備。



2列目キャブテンシート



2列目ベンチシート



3列目シート

### 開放感をさらに広げる、スカイルーフ&電動サンシェード。

タイプ別メーカーオプション

前後1,125mm×左右770mm(内寸)の大型ガラスを採用したスカイルーフ。プライバシーガラスと高熱線吸収/UVカット機能付ガラスの合わせガラスを使用し、紫外線や暑い日差しにも配慮。四季を通じて開放感のある景色を楽しめます。また、スイッチひとつで開閉する電動サンシェードも備えています。

数値はHonda測定値。ガラスは固定式



Photo: FLEXエアロ(FF) メーカーオプション装着車

### 3列すべてで快適な温度が得られる、フルオート・エアコンディショナー。

タイプ別設定

配管をストレート化することで、圧力損失を低減。さらに、ダクトを効率よくレイアウトし、十分な風量を確保しました。インストルメントパネルのエアコンアウトレットを高めに配置したこと

合わせ、3列目まで効果的に風を送ります。また、効率を高めたことにより、実用燃費の向上にも寄与しています。

### イグニッションをOFFにした後でも操作できる、キーオフオペレーション。

エンジンを停止してイグニッションスイッチをOFFにした後でも、最長10分間、運転席パワーウインドウやスカイルーフの電動

サンシェードの開閉操作が可能です。

### 車室内VOC\*の低減。

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどのVOCの揮発量を抑制しました。また、排ガス臭や花粉などの除去性能に優れたアルフリー高性能脱臭フィルターを全グレードに標準装備し、車室

内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、VOCを厚生労働省の定めた『室内濃度指針値』以下とし、車室内の空気質を改善しています。\*VOC(揮発性有機化合物): Volatile Organic Compounds

■メーター類は撮影のため点灯 小物類は撮影のために用意したものです。 ■各装備・仕様の詳しい設定については、P29~30の主要装備・主要諸元でご確認ください。

## 街に映える、スタイリッシュなフォルム。

エクステリアでは、コンパクトなボディサイズで広い空間を持ちながらも、スタイリッシュなデザインを目指し、新発想によるフォルムを追求。限られた寸法の中でこの要件を満たすために、ボディ骨格から構築していきました。さらにボディ全体を彫りの深い豊かな面で構成し、躍動感のある斬新なモノフォルムスタイリングを完成しました。

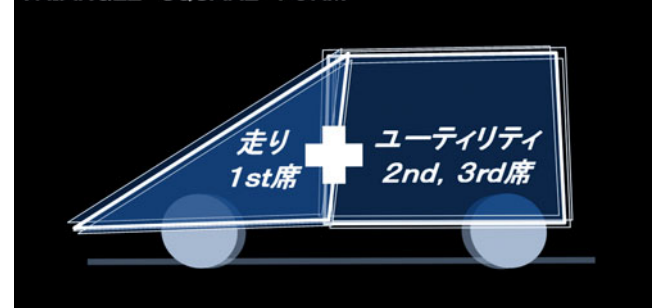
### 走りのよさと空間の広さを、ダイナミックな面構成のモノフォルムで表現したエクステリアデザイン。

軽快な走りや空間の広さを、エクステリアデザインで表現するために、まず、フロントノーズからルーフにかけては三角形(トライアングル)を、そこから後方のキャビンは四角形(スクエア)をモチーフにしました。この異なる2つの形状を、動きのあるカーブとダイナミックに変化する面処理で融合。彫刻のような陰影のグラデーションによって官能的な曲面を生み出す「カービングアート・

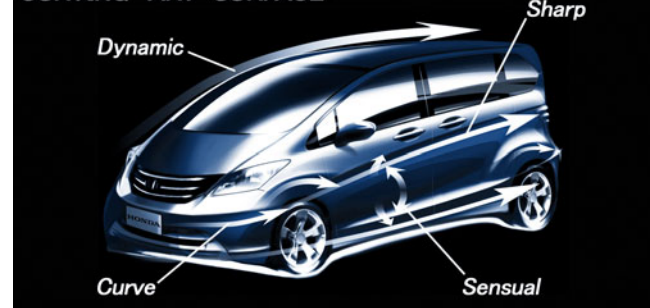
サーフェイス」による斬新なモノフォルム、「トライアングル・スクエア・フォルム」を完成しました。エッジの効いたシャープなラインや抑揚の強い豊かな張りを持つボディパネルが、ダイナミックな存在感を獲得。さらに、ディテールまで徹底して作り込み、街に映える、洗練されたスタイリングを実現しています。

■エクステリアデザインコンセプト

#### TRIANGLE SQUARE FORM



#### CURVING ART SURFACE



### 存在感があり、端正な表情のフロントビュー。

ボンネットの豊かな張りやメッキを施した大型のフロントグリルが、堂々とした存在感を表現。グリルの両端から、ボディサイドへ回り

込むように配置したシャープでワイドな形状のヘッドライトと合わせ、精悍かつ端正な表情をつくり出しています。



#### ヘッドライト

フェンダーから盛り上がるように配置したヘッドライトは、シャープな形状ながら親しみも感じさせるデザイン。レンズに施したディンプルパターンがアクセントになっています。



Photo: Gエアロ(7人乗り)〈FF〉



Photo: Gエアロ・Lパッケージ(7人乗り)〈FF〉 メーカーオプション装着車

### 躍動感あふれるサイドビュー。

後方へ向けて緩やかな弧を描くシャープなキャラクターラインと、伸びやかなサイドウィンドウがスピード感を表現。さらに、強い陰影を生む豊かな面構成のボディパネルが、止まっても

走り出しそうな躍動感を生み出しています。また、サイドシルをホイールベース中間付近にピークを持つアーチ形状とすることで、足元の安定感を強調しています。

### どっしりとした安定感のあるリアビュー。

テールゲートまで大きく回り込むキャラクターラインの下側を凹面とし、なだらかにリアバンパーの凸面へと変化する豊かなボディパネルの面構成。大きく張り出したリアフェンダーの面とも融合し、低い位置にボリューム感を持たせることで、

安定感を生み出しています。また、リアコンビネーションランプは立体感あふれる造形とするとともに、外側に張り出すように配置することでワイド感を強調しています。



#### リアコンビネーションランプ

3つのレンズが盛り上がった、立体感あふれる造形。ヘッドライトと同様、レンズにディンプルパターンを施しています。



Photo: Gエアロ(7人乗り)〈FF〉

広々快適

多彩空間 & ユーティリティ

くつろぎ インテリア

スタイバル

安心ドライブ

低燃費 & 強力

安定走行

安全性

環境性能

両能

## スマートに乗りこなせる、運転のしやすさと上質な走り。

フリードは日常で使いやすいクルマであるために、狭い曲り角や縦列駐車などでスムーズに操作できるボディサイズや取り回し性にこだわりました。また、毎日気兼ねなく使っていただくために、低燃費化を突き詰めると同時に、多人数乗車でもストレスのない力強さや、会話を妨げない静粛性、さらには安定したハンドリングやしなやかな乗り心地などを徹底的に追求。経済性とともに入質な走りを求めることで、より積極的に使っていただけるクルマを目指しました。

### 狭い駐車場や路地でも扱いやすい、コンパクトなボディサイズ。

多人数がゆったりと乗車できるゆとりの空間を持ちながら、全長4,215mm、全幅1,695mm、全高1,715mm\*の扱いやすいボディサイズを実現。都市部の狭い駐車場や路地でもスムーズに運転できます。



\*スカイルーフ装着車を除くFF車

### 車庫入れやUターンもラクに行える、優れた取り回し性。

ゆとりある3列空間を生み出す2,740mmのロングホイールベースでありながら、エンジンなどのメカニズムのコンパクト化などにより充分なタイヤ切れ角を確保し、最小回転半径5.2mを達成。フロントの左右コーナーを絞り込んだボディ形状や、低速時に軽力でステアリング操作できるEPS(電動パワーステアリング)の採用と合わせ、優れた取り回し性を実現しています。



### 最適なポジションに調整できる、テレスコピック&チルトステアリング。【タイプ別設定】

ステアリングポジションを前後方向と上下方向にそれぞれ調整できる、テレスコピック&チルトステアリング。調整量は、テレスコ

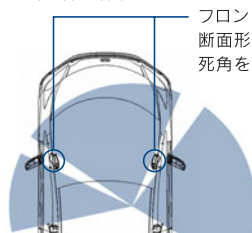
ピック機構で30mm、チルト機構で40mmとしています。



### 交差点や狭い道でも高い安心感が得られる、パノラマ視界。

フロントピラーの断面形状をドライバーから細く見えるように設計し、さらに、サイドウィンドウ下端のラインを前方に行くに従って低く設定するとともに、大型の三角窓を採用。右左折時などでの死角を減らし、安心感があって運転がしやすい、爽快なパノラマ視界を実現しています。

■パノラマ視界説明図



フロントピラー断面形状の工夫により死角を減少

サイドウィンドウの前下がり設定、大型の三角窓採用により、斜め前方の死角を減少

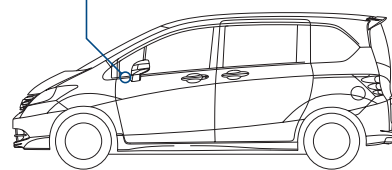


Photo: Gエアロ・Lパッケージ(7人乗り)メーカーオプション装着車

## はじめての道でも迷わずにドライブできる安心機能、Hondaインターナビシステム。

### Honda HDDインターナビシステム(リアカメラ付)

(7インチワイドディスプレイ、TV(ワンセグ)/AM/FMチューナー付DVD/CDプレーヤー、照明付オーディオリモートコントロールスイッチ、AV入力端子付)+4スピーカー

【タイプ別メーカーオプション】



7インチワイドディスプレイにHDDを採用した最新鋭のナビゲーションシステム。大容量HDD(40GB)の圧倒的な情報量と表現力を活かした多彩な機能を、タッチパネル画面で操作することができます。新たに地上デジタルTV放送(ワンセグ)に対応。番組名や電子番組表(EPG)も受信が可能。また、DVDビデオの再生、音楽CD約3,000曲分(1曲あたり4分の場合)をHDDにストックできるサウンドコンテナ機能など、オーディオ&ビジュアル機能も充実しています。Bluetooth対応により、インターナビ・プレミアムクラブのサービスを利用するとき、携帯電話との接続をワイヤレスで手軽に行えます。

ナビゲーション機能

7インチワイドディスプレイ

VICS\* FM多重レシーバー

タッチパネル

リアカメラ

オーディオ&ビジュアル機能

サウンドコンテナ

AM/FMチューナー

オーディオリモートコントロール

AV入力端子

4スピーカー(40Wx4chアンプ)

TV(ワンセグ)

DVD/CDプレーヤー

【その他の主な機能】

□リアル高速入口拡大図 □3Dマップ □高速ガイド □車速連動ボリューム

\*VICSは、全国主要都市および全国の主要高速道路でサービスされており、順次サービスエリアが拡大されています。●テレビ映像、DVDビデオ再生映像等は停車時にパーキングブレーキをかけなければなりません。走行中は安全のため音声のみとなります。●走行中は細街路の表示およびタッチパネルによる操作が制限されます。

http://www.premium-club.jp/

●ご利用の際は、Bluetooth対応携帯電話\*が必要になります。  
\*一部、インターナビ・プレミアムクラブのデータ通信ができない機種があります。  
対応携帯電話はインターナビ・プレミアムクラブホームページにてご確認ください。

インターナビ・プレミアムクラブはHonda HDDインターナビシステムに携帯電話を接続するだけで簡単に利用できるサービスです。よりきめ細やかなルート案内をはじめ、気象情報、地図更新などをデータ通信でスピーディに取得し、より快適なカーライフをサポートします。

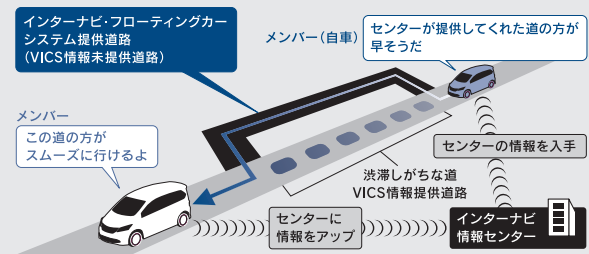
### 目的地までのより早い道がわかる インターナビVICS

インターナビVICSは、通常のVICS情報に加えて、インターナビ・フローティングカーシステムと渋滞予測情報によって、より広い範囲の細かい交通情報をカバー。目的地により早く到達するルートを案内する、Honda独自の交通情報です。

■VICS情報の再配信  
通常のVICS情報では得られない、より広い範囲のVICS情報を提供します。

■インターナビ・フローティングカーシステム  
インターナビ・プレミアムクラブのメンバーの走行データを収集し、通常のVICS情報が提供されていない道路でも精度の高いルート案内を実現します。

■渋滞予測情報  
リアルタイムの交通状況変化と蓄積されたデータをもとに、出発時はもちろん、目的地に向かう走行時も常に3時間先までの交通状況を予測。渋滞を先に見越したルートを案内します。



■仕様ならびにサービスは予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。■詳しくはインターナビ・プレミアムクラブホームページをご覧ください。●情報を取得できるのは、お使いの携帯電話の利用可能区域内です。●通信費はお客様ご負担となります。●インターナビ・プレミアムクラブのサービスを受けるには、Honda販売会社での会員登録が必要です。サービスはクルマに付帯するものです。●豪雨地点予測情報と地震情報、地震発生時安否確認システムのサービスはパーソナル・ホームページ上で利用登録が必要となります。●イラストは機能説明のためのイメージ図です。■VICSは(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。■Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

### 気象と防災の情報を提供 安心ドライブサポート

■インターナビ・ウェザー  
雨や雪、津波といった、目的地までのドライブに影響を及ぼすルート上の気象情報を提供。3時間先までの気象情報を配信し、ナビ画面上で雨や雪の動きのデータを1時間単位で確認できます。さらに、防災情報として「地震情報」と「豪雨地点予測情報」を提供しています。

◆地震情報  
震度5弱以上の地震の情報をナビ画面でお知らせします。

◆豪雨地点予測情報(世界初\*)  
従来の天気情報に加え、インターナビVICSの通過予定時刻をもとに、およそ10分先の豪雨予測地点を警告し、安全運転をサポートします。  
\*カーナビゲーション向けとしては世界初

地震発生時 安否確認システム(登録制)  
震度5以上の地震が発生したときに、クルマが地震情報提供対象エリアにいた場合、事前に登録したメールアドレス(家族など)に自動でクルマの位置を知らせるとともに、ナビ画面からドライバーが自分の安否を家族に知らせることができます。

### 地図データをすばやく更新 スマート地図更新サービス

地図更新がいつそうスピーディに。綿密な情報サービスによる新しいデータで、より正確なルート案内が実現します。

■新規道路データ配信  
新規に開通する主要道路の差分データを配信。その中でも特に利用頻度が高く交通ネットワーク上重要となる道路は、世界初\*「リアルタイム地図更新技術」により開通と同時に配信します。



■スマート全地図更新  
専用のDVDでハードディスク内の全地図データをスマートに更新。従来必要であったハードディスクのお預かりが不要となり、約30分で新地図を利用可能。初回車検時に1回無償で更新いたします。  
●ご要望に応じて随時無償にて更新いたします。

### カーライフをより快適にする 便利で多彩なサービス

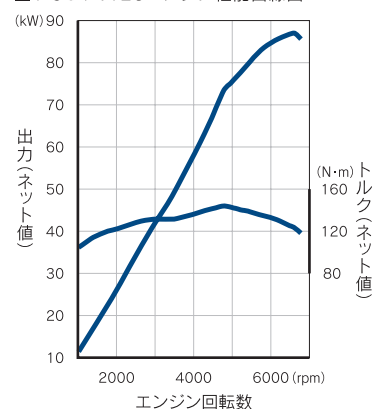
■駐車場セレクト ■パーソナル・ホームページ  
◆出発時刻アドバイザー

キビキビ走れる力強さと毎日使える低燃費を両立した、1.5ℓ i-VTECエンジン。

Honda独創のVTEC(可変バルブタイミング・リフト機構)を核に、吸排気効率や冷却効率の向上、各部の低フリクション化を追求。緻密なエンジン制御も施しました。その結果、多人数乗車でも力強くスムーズな走りや低燃費、優れた排出ガスクリーン性能を同時に実現しました。さらに、各部の構造合理化や形状・配置の工夫などにより、室内の広さに貢献するコンパクト化も達成しています。

- 最高出力(ネット値)  
87kW[118PS]/6,600rpm
  - 最大トルク(ネット値)  
144N・m[14.7kg・m]/4,800rpm
  - 10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)  
16.4km/ℓ(FF車)「平成22年度燃費基準+25%達成車」  
14.0km/ℓ(4WD車)「平成22年度燃費基準+5%達成車」
- 国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定

■1.5ℓ i-VTECエンジン性能曲線図



多人数乗車でもストレスなく走れる、全域トルクフル性能。

吸排気効率に優れる1気筒あたり4バルブとしたうえで、大径の吸気バルブや共鳴効果が得られるトルクアップレゾネーターを採用し、吸気効率を高めました。さらに、エンジン冷却水の流路を工夫し冷却効率を高めるとともに、残留ガスを少なくするなどノッキングしにくいピストンヘッド形状とすることで、耐ノッキング

性能を向上。これらにより、全域でトルクフルな性能を獲得しています。また、アクセルワークに応じたリニアな出力が得られるDBW(ドライブ・バイ・ワイヤ)を採用。発進時などの低速域ではスムーズに、中・高速域では力強い加速が得られるセッティングとしています。

毎日気兼ねなく使える、優れた燃費性能。

ピストンスカートの表面コーティングにドット状のパターンを施した、パターンピストンコーティングを採用。オイル保持性が向上し、シリンダー内面をなめらかにするプラトナーホーニングの採用と合わせ、摺動フリクションを低減しています。また、補機ベルト駆動システムをオートテンショナー化することで、エンジン負荷を低減。さらに、強いタンブル流(縦方向の渦)を発生させ、燃焼室内の

混合気分布を最適化する吸気ポート形状とすることで、EGR(排気ガス再循環)量を増やしても安定した燃焼を実現。これらにより優れた燃費性能を獲得しています。

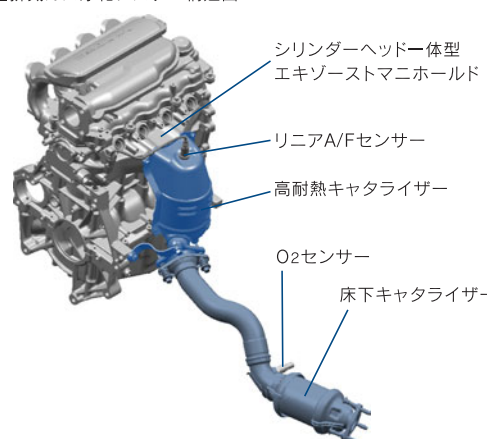
■パターンピストンコーティング図



国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定を取得した、優れたクリーン性能。

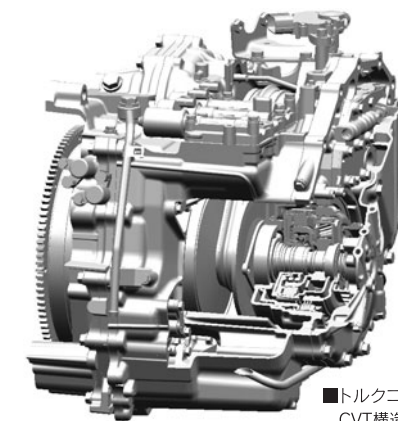
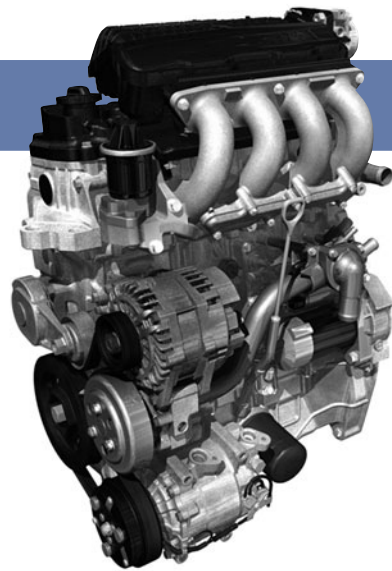
シリンダーヘッド内で燃焼ガスを集合させるエキゾーストマニホールダー体構造とし、その直下に高耐熱キャタライザーを設置。燃焼ガスの熱損失を低減し、キャタライザーの早期活性化を実現することでコールドスタート時の浄化性能を高めています。また、リニアA/F(広域空燃比)センサーとO<sub>2</sub>センサーに加え吸気側にエアフローメーターを採用し、きめ細かく空燃比を制御。より完全に近い燃焼することで燃焼ガスそのもののクリーン化を実現しました。

■排気ガス浄化システム構造図



広い室内に貢献する、コンパクト設計。

エンジン上部を巻くようなインテークマニホールダー形状とし、エンジン前後長を短縮。また、シリンダーヘッド一体型エキゾーストマニホールダーや、ノックピンを不要とした高強度クラッキングコンロッドの採用などの構造合理化により、コンパクト化と軽量化を達成。エンジンルームのスペース効率を高めています。



■トルクコンバーター付CVT構造図

坂道発進もスムーズ。力強い走りや低燃費を引き出す、トルクコンバーター付CVT。(FF車)

トルクコンバーターによる力強くスムーズな発進特性と、CVT(無段変速機)ならではの变速ショックのないなめらかな加速特性を合わせ持つ、トルクコンバーター付CVTを採用しました。ハイレシオ設定に加え、オイルポンプやベルト、プーリーの高効率・低フリクション化やきめ細かなロックアップ制御などにより、低燃費化にも貢献。また、DBWと協調した高知能な变速制御を行い、さまざまな走行シーンで、よりスムーズで快適な走行フィールを獲得しています。

低燃費化とスムーズな坂道発進に貢献する、トルクコンバーター。

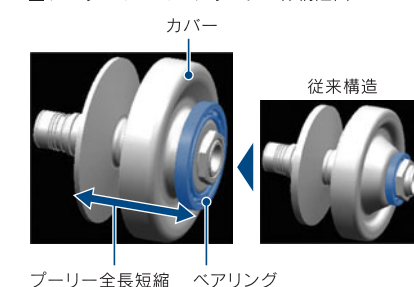
トルクコンバーター自体が持つトルク増幅効果によって、力強い発進加速を実現。これによりハイレシオ化が可能となり、クルーズ走行時のエンジン回転数を抑えることで、低燃費化と

低騒音化に貢献します。また、クリープ力を最適設定し、街なかが多いスロープのある駐車場などの坂道でもスムーズに発進できる、扱いやすい特性を獲得しています。

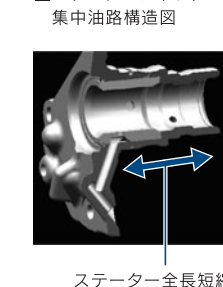
トルクコンバーターを採用しながらコンパクト化を実現。

ドライブ軸に配置していたオイルポンプを小径・高効率にし、別軸配置することで、コンパクトかつ低フリクション化を実現。さらに、ドライブ側のプーリーカバーとベアリングの一体構造やステーターシャフト集中油路構造などにより、大幅にコンパクト化。トルクコンバーターを持たない従来CVT同等のサイズを実現しています。

■プーリーカバー/ベアリング一体構造図



■ステーターシャフト集中油路構造図



4WDの走破性を引き出す、5速AT。(4WD車)

力強い加速と低燃費を同時に実現する5速オートマチックトランスミッションを採用しました。リニアソレノイドによるダイレクト制御やDBWとの協調制御により、スムーズな発進性能と变速ショックの少ないなめらかな加速、優れた高速クルーズ燃費を両立しています。また、平行3軸構造や超薄型トルクコン

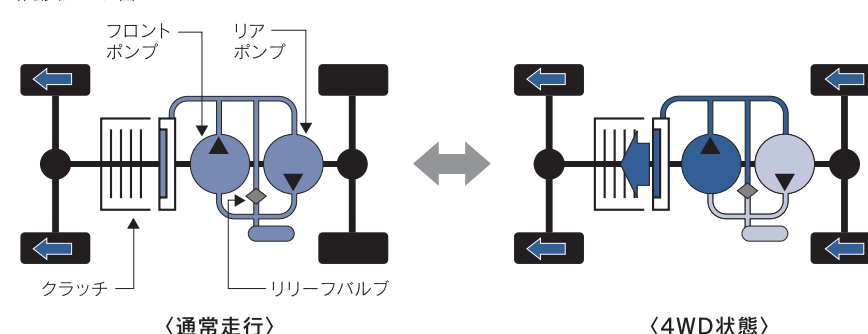
バーターの採用、4速と5速のドリブンギアの共用化などにより、コンパクト化を達成。さらに、アクティブロックアップ制御やロックアップアシストスプリングの採用により、ロックアップする際の応答時間を短縮。低燃費化にも大きく貢献しています。

多人数乗車でも頼もしい走破性と低燃費を両立する、リアルタイム4WDシステム。

通常はほぼFF状態で走行し、発進・加速時や雪道など走行状況に応じて、後輪にも適切な駆動力を配分するリアルタイム4WD

システム。ゆとりの室内にも貢献する、軽量・コンパクトなデュアルポンプシステムを搭載しています。

■デュアルポンプシステム作動イメージ図



広々快適  
多彩空間 & ユーティリティ  
くつろぎ  
インテリア  
スタイバル  
安心ドライブ  
力強い燃費 & 安定走行  
安全性  
環境性能

スライドドアやテールゲートの大開口を支える剛性と、軽量化を両立した高性能ボディ。

曲げ剛性やねじり剛性といった静剛性に加え、フロントとリアの剛性バランスの適正化や各部の結合強度を高めたことにより、動剛性を向上しました。また、軽量で強度の高いハイテン材(高張力

鋼板)を適所に採用したほか、断面を大きくすることで部材を薄肉化するなど効率よく強度を確保。スライドドアやテールゲートの大開口を支える高い剛性と軽量化を同時に達成しています。

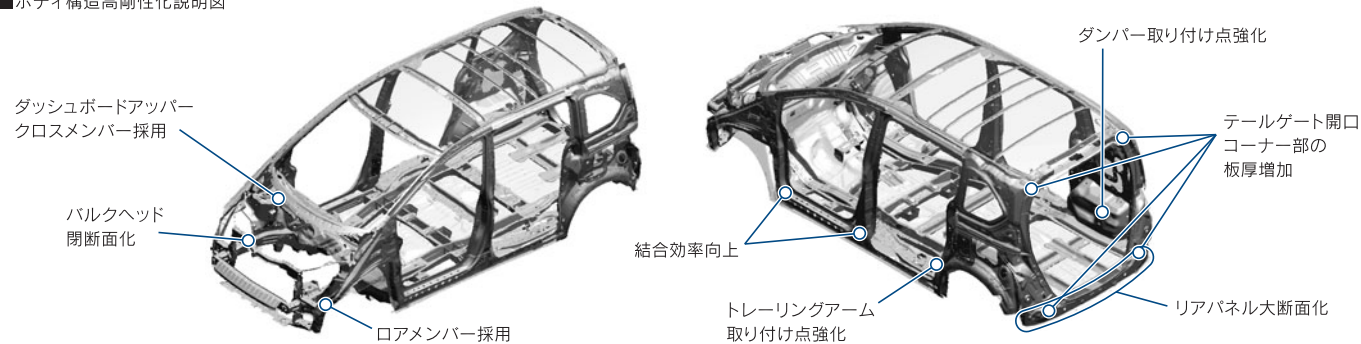
軽快なハンドリングを生み出す、フロントまわりの高剛性化。

バルクヘッドの閉断面化やロアメンバーの採用により、メインフレームとの結合を強化。さらに、左右のダンパー取り付け部を結合するダッシュボードアッパークロスメンバーなどによりサスペンション取り付け点剛性を高め、ハンドリングの応答性を向上しています。

安定感と快適な乗り心地を実現する、リアまわりの高剛性化。

テールゲート開口のコーナー部に、部材を重ね合わせることで板厚を増す構造を採用するとともに、リアパネルを大断面化。さらに、ダンパー取り付け部とトレーリングアーム取り付け部を強化し、接地感の高い安定した走りや快適な乗り心地を実現しています。

■ボディ構造高剛性化説明図



全席で快適に会話を楽しめる、優れた静粛性。

アイドリング時や発進時の静粛性を徹底的に高めました。振動・騒音を発生源で低減したうえで、ボディやシャシー各部の剛性を高めるなど、エンジンノイズやロードノイズの原因となる振動の

室内への伝達を効果的に抑制。さらに、室内に侵入するノイズの遮音・吸音処理を適所に施しました。

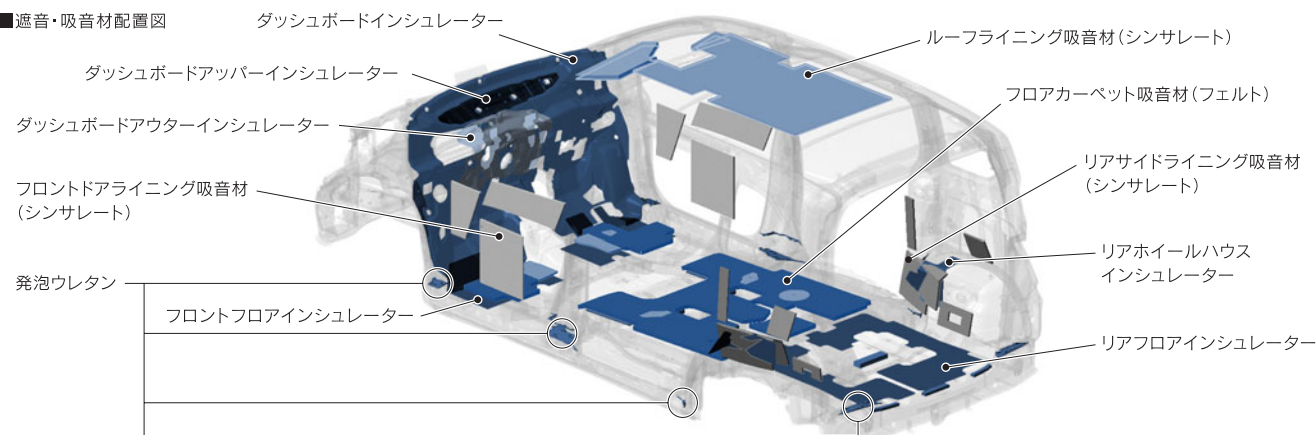
エンジンまわりの静粛性。

エンジンマウントには、エンジン揺動を前後方向で受けるトルクロッド慣性主軸マウントを採用。エンジン側とボディ側の両方にゴムブッシュを持ち、二重防振効果が得られるトルクロッドが、音になりやすい上下方向の振動を効果的に吸収。アイドリング時の振動や発進時のこもり音を大幅に低減します。また、オイルパンの板厚を増したうえで、ビードやリブを施し強度を向上。加速時のエンジンノイズを抑制しています。

キャビンまわりの静粛性。

ピラーの結合部やフロントガラス支持部の剛性を高め、アイドリング時の振動を低減。さらに、ルーフやリアフロア、フロントウインドウ、テールゲートといった、パネルの固有振動周波数をチューニング。各パネルの共振によるこもり音を打ち消しています。また、各所に発泡ウレタンの遮音材を配置することで音の侵入を抑制し、室内を囲むように軽量で高性能な吸音材を適切に配置。静粛性向上と軽量化を高次元で達成しています。

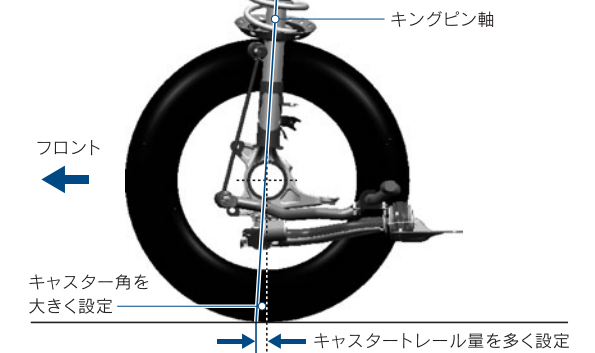
■遮音・吸音材配置図



しっかり感としなやかさを兼ね備えた、フロント・マクファーソン・ストラット式サスペンション。

スペース効率に優れたマクファーソン・ストラット式サスペンションを採用しました。キングピン軸を後方へ傾け、キャスト角を大きく、キャストトレール量を多く設定。直進性を高めるとともに旋回時のセルフライニングトルクを強め、安心感を高めています。また、ロアアームにL型アームを採用し、コンプライアンスブッシュの配置を最適化。ブッシュの低パネレート化が可能となり、操縦安定性と乗り心地を高次元で両立しました。

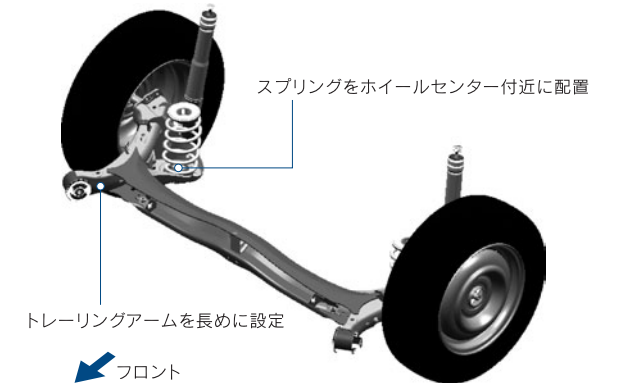
■フロントサスペンション



安定感と乗り心地を両立した、リア・H型トーションビーム式サスペンション。

コンパクトで低床・低重心に大きく貢献する、H型トーションビーム式サスペンションを採用しました。スプリングをホイールセンター付近に配置することで路面からのショックを効果的に吸収。大径のコンプライアンスブッシュの採用と合わせ、優れた乗り心地を実現しています。また、トレーリングアームを長めに設定し、キャンバー剛性を向上。コーナリング時や直進時の安定性を高めています。

■リアサスペンション(FF車)



駐車場や曲がり角では軽く、高速走行ではしっかりとした、EPS(電動パワーステアリング)。

電動モーターの駆動力で操舵アシストを行うEPSを採用し、車両の走行状況に応じて適切にアシスト制御しています。モーターには、上級クラスで使われている高効率・高出力のブラシレスモーターを採用。低速域では軽い操作感が得られ、高速域では安心感のある、自然でスムーズなステアフィールを実現しています。

多人数乗車でも安心感のあるブレーキフィールを実現。

大径のシングルマスターパワーを採用し、取り付け剛性の高いタイロッド構造とすることでリニア感と剛性感を獲得。さらに、小径のマスターシリンダーを採用するとともに最適なブレーキペダルレシオ設定とし、多人数乗車でも安心感のある、コントロールしやすいブレーキフィールを実現しています。



Photo: G・Lパッケージ(8人乗り)メーカーオプション装着車

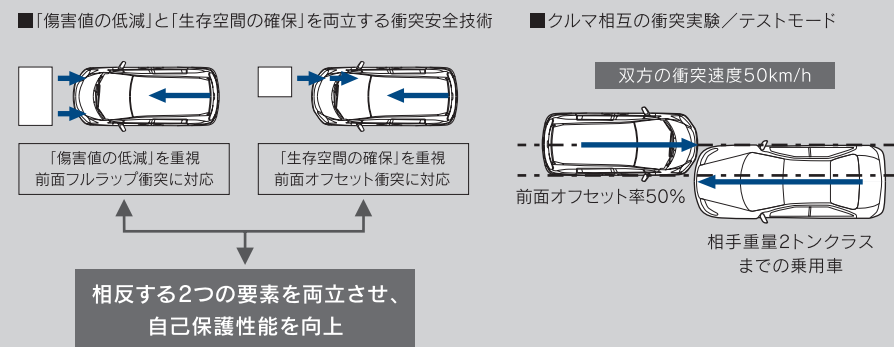
## 自己保護性能のみならず、相手車両や歩行者にも配慮した先進の安全性能。

フリードは、「走る」「曲がる」「止まる」というクルマの基本性能を徹底的に突き詰めたうえで、事故を未然に防ぐための装備を設定。また、万が一に備え、リアルワールドでの衝突安全を見据えたGコントロール技術によって、「自己保護性能の向上」と「相手車両への攻撃性低減」を両立したコンパティビリティ対応ボディを実現。さらには「歩行者の保護」を視野に入れた歩行者傷害軽減ボディなど、先進の安全性能を追求しています。

### Honda独自の衝突安全技術、Gコントロール。

#### 乗員の「傷害値の低減」と「生存空間の確保」を両立。

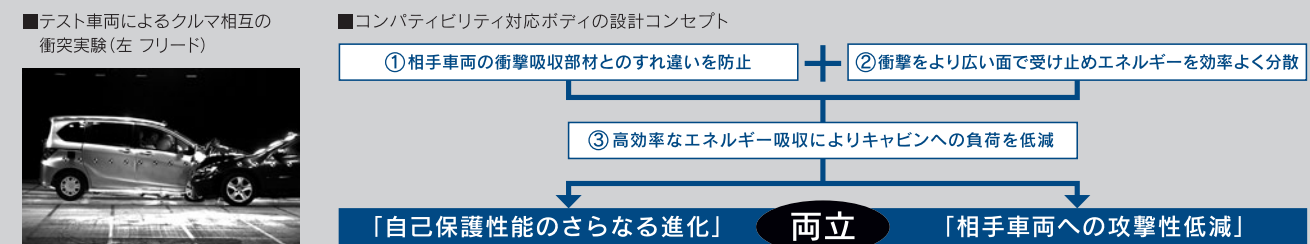
前面フルラップ衝突55km/h、前面オフセット衝突64km/h、側面衝突55km/h、後面衝突50km/hのバリア衝突テストなどを通じ、乗員の「傷害値の低減」と「生存空間の確保」を両立しました。さらに、Honda独自の目標値を設定したクルマ相互の衝突テスト（相手重量2トンクラスまでの乗用車、双方の衝突速度50km/h、50%前面オフセット衝突）も実施するなど、リアルワールドを見据えた乗員保護性能を追求しています。



#### 自己保護性能のみならず相手車両への攻撃性も低減する、コンパティビリティ対応ボディを実現。

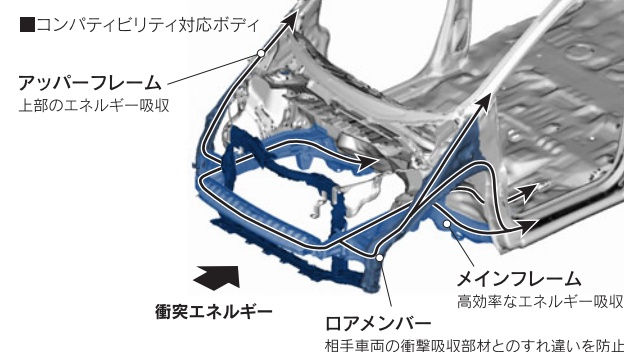
Hondaは衝突安全性能のさらなる高次元化を目指し、乗員を守るための自己保護性能をいっそう進化させるとともに相手車両への攻撃性を低減するという、相反する要素の両立を追求。「相手車両の衝撃吸収部材とのすれ違い防止」「衝突時の衝撃分散化」「高効率なエネルギー吸収」の3つをテーマに衝突

実験を繰り返し実施し、目標値をクリア。エンジンルームでの高効率なエネルギー吸収により、高水準な自己保護性能を確保するとともに相手車両への攻撃性も低減した、コンパティビリティ対応ボディを実現しています。



### コンパティビリティ対応構造を採用した、高効率エネルギー吸収ボディ。

前方向からの衝撃に対し、ロアメンバーが相手車両の衝撃吸収部材とのすれ違いを防ぐとともに、衝撃をより広い面で受け止めることで、極めて高効率な衝突エネルギー吸収を実現し、キャビンへの負荷を大幅に低減。自己保護性能を向上するとともに相手車両への攻撃性も低減しています。こうしたコンパティビリティ対応構造に加え、センターピラーとルーフやサイドシルとの結合を強化し、強固な環状構造とするなど、側面衝突に対しても優れた衝撃吸収性を発揮。また、ボディ骨格ではハイテン材（高張力鋼板）を適所に採用するなど、全方位からの衝突に対してエネルギー吸収効率の高い構造を実現しています。



### 頭部や脚部などに対する衝撃吸収構造を採用した、歩行者傷害軽減ボディ。

万が一の際、歩行者にダメージを与えやすいボディ前部に衝撃をやわらげる構造を採用。Hondaは国内法規にとどまらず、脚部などの傷害軽減にも独自の基準を設けて取り組んでいます。

### 3列すべてに対応する、サイドカーテンエアバッグシステム。タイプ別設定

側面衝突時に子供から大人までさまざまな体格の乗員の頭部や頸部を広く保護し、特にピラーへの頭部衝突を防ぐ展開性能を実現したサイドカーテンエアバッグシステム。3列目シートをはね上げた状態でも作動する、1〜2列目用と3列目用の分割タイプとし、シートのスライド範囲すべてで十分な保護性能を発揮するために大型のエアバッグを採用しています。助手席乗員の体格や姿勢を検知し、エアバッグの展開を緻密に制御する、1列目シート用I-サイドエアバッグシステムとセットで装着されます。

■5人乗りでは、1列目・2列目に対応。

### 運転にゆとりと安心をもたらす、VSA(車両挙動安定化制御システム)。4WD車に標準装備。FF車にタイプ別設定

ABS、TCSに、オーバーステアやアンダーステアなどの横すべり抑制を加えたVSA。ブレーキ制御を4輪独立できめ細かにコントロールすることで、クルマの急激な挙動変化を効果的に抑制。運転にゆとりと安心をもたらします。さらに、エンジントルク制御をDBWによるスロットル制御で行うことで、より高精度な制御を可能にしています。 VSA:Vehicle Stability Assist

#### 【VSAの機能】

##### オーバーステア抑制

ステアリングの急な切り過ぎなどで後輪スリップによる車両の巻き込みが発生した場合、外輪にブレーキをかけることで車両を安定化。

##### アンダーステア抑制

旋回時に前輪がスリップし軌跡がふくらんだ場合、エンジントルクを低減し、リア内輪にブレーキをかけることでトレース性を向上。

##### 発進制御

発進時などで左右輪の路面状況が異なる場合、エンジントルクとブレーキ力を最適配分し、ホイールスピンを抑制することで、発進性や登坂性を向上。

##### 制動制御

制動時に左右輪の路面状況が異なる場合でも、ブレーキ力を最適配分することで、車両安定性を向上。

### その他、全タイプに採用した安全装備。

- EBD付ABS+ブレーキアシスト
- 1列目シート3点式ロードリミッター付プリテンショナー-ELRシートベルト
- 運転席用&助手席用SRSエアバッグシステム
- 頭部衝撃保護インテリア
- 頸部衝撃緩和1列目シート
- 2列目シート3点式ELR/ALR\*1(チャイルドシート固定機構)シートベルト(左右席\*2)
- \*1 サイドリフトアップシート車の2列目左席はELRのみ。\*2 8人乗り/5人乗りの中央席は2点式マニュアル。
- 3列目シート3点式ELRシートベルト(左右席\*) (7人乗り/8人乗り) \*中央席は2点式マニュアル。
- ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バー(2列目左右席\*) +テザーアンカー(2列目左右席\*) \*サイドリフトアップシート車は2列目右席のみ。

■各装備・仕様の詳しい設定については、P29~30の主要装備・主要諸元でご確認ください。



#### ■エアバッグシステム作動イメージ



### 夜間走行時の安心感を高める、ディスチャージヘッドライト<HID>。(ハイ/ロービーム、オートレベリング/オートライトコントロール機構付)

タイプ別設定

遠くまで明るく照らし、夜間や雨天時のドライブに安心感をもたらすディスチャージヘッドライト。乗車人数や荷物量に応じて、自動的に上下の照射軸を調整するオートレベリング機構も搭載しています。また、周囲の明るさを検知し、ライトの点灯/消灯を自動制御するオートライトコントロール機構も備えています。



## 優れたクリーン化技術による 高水準の環境性能。

フリードは、排出ガスのクリーン化や低燃費化はもとより、リサイクルを考慮した設計などにより、優れた環境性能を実現しています。

### 全タイプ、国土交通省「平成17年 排出ガス基準75%低減レベル」認定を取得。

排出ガス中の有害物質、NMHC（非メタン炭化水素）、NOx（窒素酸化物）、CO（一酸化炭素）をそれぞれ低減。NMHCとNOxは基準値の1/4以下にまで低減し、全タイプで国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定を取得しています。



「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車表示マーク  
平成17年排出ガス規制のNMHC、NOxについて  
基準値を75%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に  
与えられます。

### 「平成22年度燃費基準+25%」を達成。(FF車)

FF車では「平成22年度燃費基準+25%」の優れた燃費性能を達成。4WD車は「平成22年度燃費基準+5%」を達成しています。



「平成22年度燃費基準+25%達成車」表示マーク  
平成22年度燃費基準を25%以上上回る優れた  
燃費性能を達成した車両に与えられます。(FF車)



「平成22年度燃費基準+5%達成車」表示マーク  
平成22年度燃費基準を5%以上上回る優れた  
燃費性能を達成した車両に与えられます。(4WD車)

### リサイクル可能率90%以上\*を実現。

リサイクルしやすく環境にやさしい材料選定を行いました。インテリア、エクステリアの樹脂部品のほとんどにリサイクル性に優れた、オレフィン系樹脂材を採用。PVC（ポリ塩化ビニール）の使用量を、シュレッダーダスト中の塩素濃度1%以下レベルにまで大幅に削減しました。また、ゴムや樹脂部品への識別記号の表示を推進するなど、リサイクル可能率をクルマ全体で90%以上\*としています。\*「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。

### リサイクル材の使用を推進。

Hondaは、ディーラーからのバンパー回収リサイクルシステムを確立し、回収したバンパーを再生材として再利用しています。フリードでは、スプラッシュシールドに再生樹脂を使用しています。

### 環境負荷物質の使用量を削減。

Hondaは環境負荷物質と呼ばれる、鉛、水銀、カドミウム、六価クロムの使用量を削減に積極的に取り組んでいます。フリードは、これらすべてにおいて日本自動車工業会が定める自主削減目標を達成しています。

#### 【日本自動車工業会の定める環境負荷4物質自主削減目標】

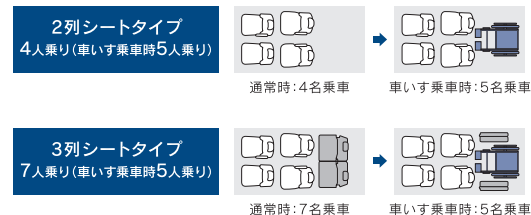
- ・鉛：2006年1月以降1996年レベルの1/10以下に削減
- ・水銀：2005年1月以降使用全廃
- ・六価クロム：2008年1月以降使用全廃
- ・カドミウム：2007年1月以降使用全廃

## 移動の自由と楽しさを みんなで共有できる 福祉車両。

フリードは、室内の広さや低くフラットなフロア、大開口のドアとテールゲートなどの優れた資質を活かし、〈車いす仕様車〉〈助手席リフトアップシート車〉〈サイドリフトアップシート車〉の3つの福祉車両を同時にラインアップ。介護をする人にも、受ける人にも優れた使い勝手を提供します。さらに、ベース車と同時に開発を行ったことで、優れたユーティリティをはじめ、軽快な走りや快適な乗り心地、経済性にいたるまで、フリードの魅力フルに備えています。ベース車と同じラインで生産することで、より安定した供給も可能としています。



Photo: X 2列シートタイプ  
車いす仕様車の全高は1,735mm、  
車いす乗車口全高は1,315mmとなります。  
数値はHonda測定値



### 車いすのままスムーズに乗降でき、快適・安心機能も充実した 〈車いす仕様車〉。

#### 引き出し式スロープにより、スムーズな乗降補助を実現。

ベース車よりもさらに低床に設計したリア空間によって、無理なく乗降できる約11度のスロープ角度を実現。さらにスロープはすべりにくい加工を施した軽量アルミ製の引き出し式を採用。車いす後退防止ベルトと合わせ、介護する人が乗降補助をスムーズに行えます。

#### 車いす乗員に良好な見晴らしをもたらすウォークスルー。

2列目にキャブテンシートを採用。前方の広さ感と見晴らしのよさが、車いす乗員の快適性を高めます。同時に、介護をする人が車いす乗員の様子を容易に確認することもできます。



#### 車いす乗員専用3点式シートベルトを装備。

車いす乗員専用、胸部ベルトと腰部ベルトが独立した3点式ELRシートベルトを装備。さらに、2列目左右シートの背面に備えたアシストグリップや車いす固定装置と合わせ、車いす乗員の方も安心して乗車できます。



#### 3列目シートを装備。(3列シートタイプ)

3列シートタイプでは、はね上げ式3列目シートを備え、車いすで乗車しない場合には7名乗車が可能です。

#### ベース車と同じラインで生産することで、安定供給を実現。

ベース車のボディをカットして専用パーツを組み付ける、といった後工程を不要とする設計により、他のタイプと同じラインでの生産を実現。安定した供給を可能としています。

### スライドドアからスムーズに乗降でき、快適な座り心地が得られる 〈サイドリフトアップシート車〉。

2列目左席にスイッチひとつの簡単操作で回転から昇降までフル電動で行えるリフトアップシートを採用しました。ベース車のシートと同等の、ロングドライブでも疲れにくい快適な座り心地を提供します。しかもアームレストを左右に備え、リクライニング機構も装備。リア左側にパワースライドドアも標準装備しています。

### フル電動でラクに乗降でき、 ドライバーと一緒に大きな開放感が得られる 〈助手席リフトアップシート車〉。

助手席にスイッチひとつの簡単操作で回転から昇降までフル電動で行えるリフトアップシートを採用。ドライバーの隣で明るく大きな開放感を得ることができます。ベース車の助手席シートと同等の、ロングドライブでも疲れにくい快適な座り心地を提供します。また、アームレストやリクライニング機構も装備しています。

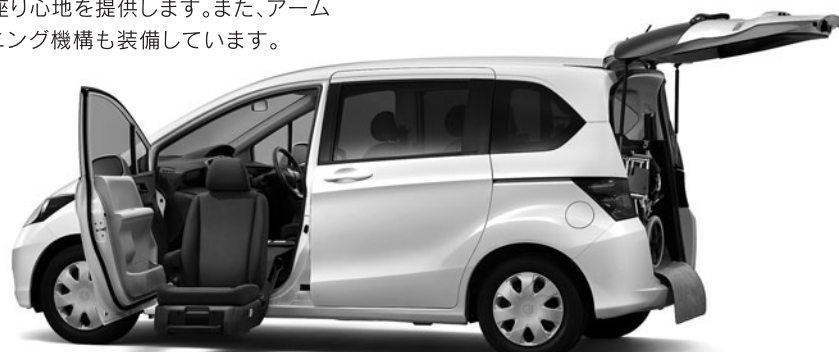


Photo: G メーカーオプション装着車



Photo: X(FF) メーカーオプション装着車

# Equipment 主要装備

シート仕様	3列シート											2列シート											
	G				Gエアロ				Giエアロ			FLEX			FLEXエアロ			FLEXiエアロ					
	7	7	8	7	7	7	8	7	7	7	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
タイプ	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
乗車定員(名)	5																						
駆動方式	1.5L SOHC i-VTEC																						
運転席用&助手席用SRSエアバッグシステム	●																						
1列目シート用サイドエアバッグシステム(助手席乗員姿勢検知機能付)+サイドカーテンエアバッグシステム※1	●																						
EBD(電子制御制動力配分システム)付ABS+ブレーキアシスト	●																						
VSA(ABS+TCS+横すべり抑制)	●																						
2列目シート3点式ELR/ALR(チャイルドシート固定機構)シートベルト	●																						
3列目シート3点式ELRシートベルト※2	●																						
ハロゲンヘッドライト(マニュアルレベリング機構付)	●																						
ディスプレイヘッドライト(HID)(ハイロービーム、オートレベリング/オートライトコントロール機構付)	○																						
【その他の全タイプ標準装備】 ●頭部保護と1列目シート ●1列目シート3点式ロードリミッター付プリテンションERシートベルト ●ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バー(2列目左右席)+テザーアンカー(2列目左右席) ●運転席シートベルト締め忘れ警告ブザー ●警告灯(シートベルトリマインダー付) ●ハイマウントストップランプ ●ドアビーム ●室内燃焼材 ●チャイルドブルー																							
スライドドア・アイズークローザー(リア両側)	●																						
パワースライドドア(タッチセンサー/挟み込み防止 リア右側機構付、リモコン&運転席スイッチ開閉式) リア左側	○																						
Hondaスマートキーシステム(Hondaスマートキー2個付)※4	●																						
セキュリティ セキュリティアラーム(国土交通省認可品)	○																						
パッケージ イモビライザー(国土交通省認可品)	●																						
電動格納式リモコンドアミラー	●																						
スカイルーフ(高熱線吸収/UVカット機能付プライバシーガラス)※5	○																						
Honda HDDインターナビシステム(リアカメラ付)(7インチワイドディスプレイ、TV(ワンセグ)/AM/FMチューナー付DVD/CDプレーヤー・照明付オーディオリモートコントロールスイッチ、AV入力端子付)+4スピーカー※7※8	○																						
フルオート・エアコンディショナー(外気温表示機能付)	●																						
マニュアル・エアコンディショナー	●																						
テレスコピック&マルチステアリング	●																						
チルトステアリング	●																						
【その他の全タイプ標準装備】 ●パワードアロック ●電液式キーストレントリシステム(アンサーバック/ウエルカムランプ機能付)※9 ●電動パワーステアリング ●オーディオレス(フロント2スピーカー付) ●アレフフリー高性能脱臭フィルター ●イグニッションキー抜き忘れ警告ブザー ●ライト消し忘れ警告ブザー ●パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー																							
2列目キャブテンシート(片側アームレスト付)	●																						
2列目6:4分割タンブルシート(センターアームレスト付)	●																						
3列目5:5分割はね上げシート	●																						
運転席アームレスト	●																						
ダークシルバークラッシュセンターパネル	●																						
シルバークラッシュインナードアハンドル	●																						
シートバックポケット(助手席)	●																						
コンビニポケット(助手席背面)	●																						
運転席用&助手席用パニティミラー付サンバイザー	●																						
グラブレール(助手席側)	●																						
ワイパブルマット(タイダウンフック4カ所付)	○																						
サイドライニングトレイ(左右)	●																						
【その他の全タイプ標準装備】 ●インフォメーションディスプレイ(オドメーター/トリップメーター/平均燃費/瞬間燃費/推定航続可能距離表示機能付) ●タコメーター ●燃料残量警告灯 ●アクセルリソケット(DC12V) ●チケットホルダー(運転席側サンバイザー) ●グローブボックス(カードホルダー付) ●センタートレイ(照明付) ●ドリンクホルダー(運転席/助手席) ●センタードリンクホルダー(フロント左右) ●スライドドア・ドリンクホルダー(2列目左右) ●リアサイド・ドリンクホルダー(3列目左右) ●ユーティリティフック(リアクォーターウィンドウ上部) ●大型アシストグリップ																							
エアロフォルム・バンパー(フロント/リア)	●																						
カラードサイドシルガードニッシュ	●																						
カラードテールゲートスポイラー	●																						
クローム調ヘッドライトサブリフレクター	●																						
ドアミラーウインカー	●																						
リアライセンスガーニッシュ	●																						
高熱線吸収/UVカット機能付ガラス(フロントコーナー/フロントドア)	●																						
高熱線吸収/UVカット機能付プライバシーガラス(リアドア/リアクォーターゲート)	●																						
コンフォートビューパッケージ(親水/ヒートドリアミラー、熱線入りフロントウィンドウ、フロントドア撥水ガラス)	●																						
ウォッシャー付間欠リアワイパー(リパース連動)	●																						
ピラーアンテナ	●																						
マイクアンテナ	○																						
【その他の全タイプ標準装備】 ●カラードアウトドアハンドル ●車速連動間欠フロントワイパー(ワイパブル間欠/ミスト機構付) ●UVカット機能付フロントウィンドウガラス																							
スチールラジアルタイヤ(185/70R14 88S)	●																						
スチールラジアルタイヤ(185/65R15 88S)	○																						
フルホイールキャップ	●																						
15インチアルミホイール	○																						
【その他の全タイプ標準装備】 ●DBW(ドライブ・バイ・ワイヤ) ●フロントベンチレーテッドディスクブレーキ ●応急パンク修理キット(スペアタイヤレス)																							

※1:Giエアロは1~3列目シート対応、FLEXiエアロは1・2列目シート対応。 ※2:中央席は2点式マニュアル。 ※3:i/パワースライドドア(リア左側)を装備した場合、「スライドドア・アイズークローザー(リア両側)」が装備されます。 ※4:「Hondaスマートキーシステム」を装備した場合、キーレスエントリー機能はスマートキーシステムに統合されます。 ※5:フロントマップランプが合わせて装備されます。 ※6:「スカイルーフ」を装備した場合、「グラブレール」は助手席側/2列目左右となります。 ※7:スピーカー数は標準装備の2スピーカーとの合計です。 ※8:「Honda HDDインターナビシステム」を装備した場合、ワンセグTV対応のマイクアンテナとなります。 ※9:タイプ、装備内容によりリモコンはキー一体タイプまたは別体タイプとなります。 ※10:「15インチアルミホイール」を装備した場合、タイヤサイズは185/65R15 88Sとなります。

■メーカーオプションは組み合わせによっては同時装着できない場合がございます。また、他のメーカーオプションとセット装着になる場合がございます。

■仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

# Specifications 主要諸元

シート仕様	3列シート											2列シート											
	G				Gエアロ				Giエアロ			FLEX			FLEXエアロ			FLEXiエアロ					
	7	7	8	7	7	7	8	7	7	7	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
タイプ	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
乗車定員(名)	5																						
駆動方式	1.5L SOHC i-VTEC																						
車名・型式	ホンダ・DBA-GB3																						
トランスミッション	無段変速オートマチック																						
全長(m)	4.215																						
全幅(m)	1.695																						
全高(m)	1.715																						
ホイールベース(m)	2.740																						
トレッド(m) (前/後)	1.480/1.465																						
最低地上高(m)	0.150																						
車両重量(kg)	1,280																						
最大車両重量(kg)※1	1,380																						
客室内寸法(m) (長さ/幅/高さ)	2,625/1,440/1,265																						
エンジン型式	L15A																						
エンジン種類・シリンダー数および配置	水冷直列4気筒横置																						
弁機構	SOHC チェーン駆動 吸気2 排気2																						
総排気量(cm³)	1,496																						
内径×行程(mm)	73.0×89.4																						
圧縮比	10.4																						
燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)																						
使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン																						
燃料タンク容量(ℓ)	42																						
最高出力(kW[PS]/rpm)*	87[118]/6,600																						
最大トルク(N・m[kg・m]/rpm)*	144[14.7]/4,800																						
燃料消費率(km/ℓ)	16.4																						
10・15モード走行(国土交通省審査値)	16.4																						
主要燃費 自動無段変速機(CVT)	●																						
向上対策 可変バルブタイミング	●																						
電動パワーステアリング	●																						
最小回転半径(m)	5.2																						
変速機 CVT	前進																						
変速機 5AT	前進																						
減速比	5.258																						
ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(パワーステアリング仕様)																						
タイヤ(前・後) 185/70R14 88S	●																						
185/65R15 88S	○																						
主ブレーキの種類・形式(前/後)	油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式リーディング・トレーリング																						
サスペンション方式	マクファレンソン式																						
スタビライザー形式	トーションバー式																						

( )内は「スカイルーフ」装着車。 ※1:メーカーオプションを組み合わせて装着した場合の最大車両重量です。 ※2:メーカーオプションの「15インチアルミホイール」を装着した場合、185/65R15 88Sとなります。 ※3:ネットとはエンジン車を車両に搭載した状態とは異なる条件下で測定したものです。 ※4:PSからkWに、トルクは「kg・m」に「N・m」に切り替わっています。 ※5:燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ※6:主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書に基づきます。 ※7:FLEX、アレフフリー、G-CON、INTER NAVI SYSTEM、PGM-FI、フロスマチック、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の登録商標です。 ※8:製造業者名:本田技研工業株式会社

# Environmental Specifications 環境仕様

基礎情報	車両型式	DBA-GB3	DBA-GB4
エンジン	型式	L15A	
総排気量(cm³)		1,496	
駆動装置	駆動方式	FF	4WD
変速機	変速機	CVT	5AT
環境性能情報	燃料消費率	10・15モード燃費(km/ℓ)	16.4
	CO <sub>2</sub> 排出量(g/km) (10・15モード燃費からの換算値)	141.6	165.8
	参考	平成22年度燃費基準+25%達成車	
排出ガス	適合規制・認定レベル	平成17年排出ガス基準75%低減	
	10・15+JCO8Cモード規制値・認定値等	CO	1.15
	(単位:g/km)	NMHC	0.013
		NOx	0.013
	参考	八都府市低公害車指定制度およびLEV-7*(等)の排出ガス基準をクリアしています。 *LEV-7:京阪神7府県市指定低排出ガス車	
適合騒音規制レベル	適合騒音規制	平成11年騒音規制 規制値:加速走行 76dB(A) (3列シート)	平成10年騒音規制 規制値:加速走行 76dB(A) (2列シート)
エアコン冷媒使用量		種類:代替フロン134a 使用量:420g	
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)	
環境負荷物質削減		自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)*2)	
		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
環境への取り組み	リサイクル	樹脂、ゴム部品に可能な限り全て 樹脂、ゴム部品に可能な限り全て	
		リサイクルし易い材料*3を使用した部品 アンダーコート、ウィンドウモール類、バンパーフェースなどの内外装部品	
		再生材を使用している部品 アンダーカバー、エアアウトレット、スブラッシュシールド、バッテリーボックス、吸音材	
		リサイクル可能率 車全体で90%以上*4	
		ポリ塩化ビニル廃止部品 ボディアアンダーコート、外装モールなどでの廃止によりASR*5中塩素濃度1%以下レベル	
その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車	

\*1:1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。 \*2:交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。 \*3:ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。 \*4:「新車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。 \*5:Automobile Shredder Residue ※この環境仕様書は2008年5月現在のものです。

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。